ライオン誌(毎月20日発行)第54巻第12号 2012年5月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

WWW.THELION-MAG.JP JUNE 2012 6

福岡フォーラム展望

ライオン誌日本語版出版物

創刊55周年記念特別セット（価格1,000円／送料込）

ライオン誌日本語版は2012年7月号で、第55巻目に突入します。ライオン誌日本語版委員会ではこれを記念して、7月からライオン誌出版物のうちライオンズの歴史に関連する『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』を3冊セットにして1,000円（送料込／通常1,900円・送料別）で頒布することにしました。この機会にぜひお求めください。
※部数に限りがあります。お早めにお申し込みください。

●ウィ・サーブ　●ライオニズムよ永遠に　●『ライオン』誌創刊号復刻版

●ウィ・サーブ

1952年に初めてのライオンズクラブが誕生してから、世界有数のライオンズ国となるまでの日本ライオンズ半世紀の軌跡。
B6判 332ページ（※通常頒価800円）

●ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。ジョーンズの書簡集と寸言録も収録。
B6判 224ページ（※通常頒価800円）

●『ライオン』誌創刊号復刻版

1958年、『ライオン』誌日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。
B5判 68ページ（※通常頒価300円）

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部

●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

LION MAGAZINE IN JAPAN
May 2012, Vol.54 No.12

We Serve CONTENTS

■2012年6月号
表紙
沖縄県北中城村
中城城跡
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

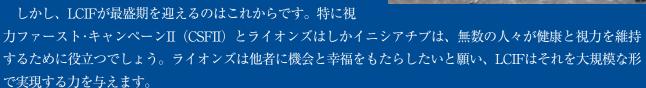
MESSAGE FROM THE PRESIDENT

世界を結び付けるLCIFの力

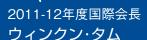
私は国際会長として世界中を旅する中で、ライオンズはもとよりさまざまな方と出会います。彼らはよく雑談の合間に、私が直面せざるを得ない食べ物、習慣、気候の違いに言及します。確かに世界は多様で複雑ですが、この1年間で既に知っていた事実を直接確かめることが出来ました。それは国々の間、またライオンズの世界を結び付けている共通の絆であり、すばらしい影響力を持つライオンズクラブ国際財団（LCIF）の存在です。

LCIFは世界各国、至るところに浸透しています。インドのムンバイでは、ライオンズクエストを取り入れている学校、アンジュマン・イ・イスラムを訪問しました。その生徒たちが生産的で思慮深い市民となれるよう、ライオンズが手を貸していることは明らかでした。コンゴ民主共和国キンシャサの眼科病院では、視力ファーストが圧倒的な力で貧しい人々の生活を変えていました。オランダでは最新式の白い杖を試す機会に恵まれ、この試作品にはGPSと表面スキャンセンサーが付いていました。LCIFは失明者に新次元の可動性をもたらすことになるでしょう。

ライオンズが国際社会と各地域社会の双方で奉仕する手段として、LCIFには計り知れない力があります。私たちの財団は失明者に視力を与え、被災者を支援し、政府や他の市民団体には満たすことの出来ないニーズに幅広く対応しています。

しかし、LCIFが最盛期を迎えるのはこれからです。特に視力ファースト・キャンペーンII（CSFII）とライオンズはしかイニシアチブは、無数の人々が健康と視力を維持するために役立つでしょう。ライオンズは他者に機会と幸福をもたらしたいと願い、LCIFはそれを大規模な形で実現する力を与えます。

LCIFを通じたライオンズの努力と財団への貢献は、その一員であることに誇りを感じさせてくれます。大勢の夢を実現させるLCIFは「ウィ（われわれ）」の力の象徴であり、私たちが信じる時、世界の変革が可能になります。LCIFの力と生産性の源は、財団に対するライオンズの信念に他なりません。

私はこの1年間、ライオンズクラブを互いに助け合う家族になぞらえてきました。LCIFはその尊い家宝であり、私たちが育て支えるべきものです。今後も引き続きLCIFを支援し、信じ、大切にしてください。その存在があればこそ、ライオンズ・ファミリーは本来の豊かさと充実感を持ち続けることが出来るのです。

2011-12年度国際会長
ウィンクン・タム

THEME

福岡フォーラム展望

世界の七つの会則地域で年1回開催されているエリア・フォーラムは、
国際協会の目的と方針の促進、地区及びクラブ役員の指導・教育、奉仕事業に関する情報交換の機会であり、
エリア内の会員が友好・親善を深める交流の場でもある。
今年で第51回目を迎える東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムは、
今年11月8日～11日、福岡市で開催される。5カ月後に迫ったフォーラムに向けてどのような準備が進んでいるのか、
組織委員会メンバーによる座談会を収録すると共に、舞台となる福岡の街の魅力を紹介する。

座談会

をアジアの交流拠点都市・福岡から

井村一男（第51回 OSEALフォーラム組織委員会実行委員長／元協議会議長／長崎県・諫早ライオンズクラブ）
司会 **澁田繁晴**（ライオン誌日本語版委員会委員長／元地区ガバナー／福岡県・飯塚ライオンズクラブ）

Photo by Fumio Hashimoto

東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムは昨年のマニラ・フォーラムで50周年の節目を迎え、今年、福岡で次なる半世紀の第一歩を刻むことになる。「LEADERSHIP」をテーマに掲げたフォーラムの成功に向けて準備を整える組織委員会メンバーの座談会からは、多彩なテーマのセミナーや、市民に開かれたプログラムなど、新たなフォーラムの姿が見えてきた。

3月5日・ホテルニューオータニ博多
（取材／河村智子）

高い利便性と魅力を備えた開催地・福岡

澁田　昨日、第1回ステアリング委員会を終えられたばかりでお疲れのところと思いますが、今日は組織委員会の皆さんにフォーラム成功に向けた展望をお伺いします。日本では仙台から7年ぶり、そして福岡では第16回から数えて35年ぶりのOSEALフォーラム（以下フォーラム）は、11月8日～11日に開かれます。1977年の第16回は、故村上薫国際会長を国際第3副会長候補者とする推薦決議が採択された、日本ライオンズにとって歴史的なフォーラムでもありました。同じ都市で2度目の開催となるのは日本では初めてのことになります。まずは開催に至った経過をお聞かせください。

不老　九州でフォーラムをという声は2005年頃から出ておりまして、06年の337複合地区年次大会に提案、可決されました。その開催地としてまず候補に挙がったのが福岡市で、当時の吉田宏福岡市長に打診したところ喜んで協力したいとの快諾を得て、337複合地区は福岡市で立候補することが決まりました。他に331複合地区、336複合地区も立候補されましたが、08年2月の八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において福岡市に決定しました。

山崎　第16回当時、福岡には今のような大きな施設がなく、大濠公園に特設会場を設けて参加者6600人ほどで開催されたそうです。今回は2回目にふさわしく、進化したフォーラムにしたいですね。発展を遂げるアジアの中で、現在の福岡は交流の拠点となっています。地理的にも精神的にもアジアとのつながりが強い所ですから、フォーラムではアジアが抱えるテーマを具体的に取り上げ、一緒になって考えて、今後のライオンズクラブの取り組みに

第51回OSEALフォーラム組織委員会座談会

かつてない新たなフォーラム

不老安正（第51回 OSEALフォーラム組織委員会委員長／元国際理事／福岡県・太宰府ライオンズクラブ）
山崎広太郎（第51回 OSEALフォーラム組織委員会事務局長／元福岡市長／福岡博多東ライオンズクラブ）

結びつけて頂きたいと考えています。

井村　アジアの玄関口として交通の便が良いことは、開催地としての大きなメリットですね。OSEALの主要な国々からは直行便が飛んでいますし、ご存じの通り福岡空港は中心市街地の至近距離にあってとても便利です。海路でも、韓国の釜山とは高速船ビートルで約3時間で結ばれています。

不老　福岡市は東京に次いで国内で2番目に国際会議の開催が多い都市なんです。地理的にも利便性が高く、施設が充実しているだけでなく、豊かな食文化や昔からの伝統といった街の魅力も兼ね備えていて、国際会議の舞台として恵まれた条件がそろっていますからね。今回のフォーラムには、受け皿となる福岡市の強力なバックアップがあることも非常に心強いです。

澁田　フォーラム・テーマに掲げられた「LEADERSHIP（リーダーシップ）」についてご説明を頂けますか。

井村　リーダーシップは耳慣れた言葉ですが、これをテーマにするに当たり、LEADERSHIPの各文字に「リーダーシップをアジアから世界へ」という強い決意を込めました（11ページ参照）。

不老　ライオンズに限らず、組織にとってリーダーは不可欠なものです。これからのライオンズを考えた時、会員増強もクラブの活性化も、リーダーシップなくして成し遂げられません。このフォーラムを通じて、リーダーシップの重要性について認識を深めて頂きたい。今回はかつてない多様なセミナーを計画しています。参加される皆さんにはこのセミナーで学び、知識を深め、それぞれの分野で自分がリーダーになるんだという意識を持って頂いて、その中から日本、OSEALだけでなく世界でリーダーシップを発揮出来る卓越した人材に出てきてほしいと願っています。

澁田　セミナーについては後ほどご説明頂くとして、昨日3月4日に開催された第1回ステアリング委員会についてお聞きします。フォーラム本番に向けてOSEALの代表が集う最初の会議でしたが、どのような手応えを感じておられますか。

不老　OSEAL地域内の香港のご出身で、ステアリング委員でもあるタム国際会長が出席してくださったことで非常に盛り上がりました。会議では一部、通訳リレーがうまくいかずにご迷惑をお掛けしましたが、全体的に和や

かな雰囲気の中で、私としても十分にご説明をし、ご理解頂けたものと思います。

ライオン不老安正

山崎　委員会は3日にフォーラム会場の視察、4日に会議というスケジュールでした。連日雨の予報でしたが、一昨日は天候に恵まれて、英語、中国語、韓国語、日本語の4班に分かれてベイエリアにあるコンベンション・ゾーンを視察して頂きました。マリンメッセ福岡と福岡国際会議場、福岡サンパレスの各施設が一体となったこのエリアが、開会式や各種セミナーの会場になります。博多、中洲、天神といった繁華街に近接していながら、海に面した絶好のロケーションと、隣り合って配置された施設の連携の良さ、十分な広さが確保されている駐車場など、充実した設備が整っていることに、委員の皆さんからは高い評価を頂きました。

井村　会議では従来、名誉ステアリング委員である元国際理事が前の席になっていましたが、今回は正規ステアリング委員である現職の議長、地区ガバナーが前列になる席の配置にしました。プロトコールと異なりますが、現職がより発言しやすいようにするためで、フォーラム本番の会議でも今回と同様に進めることにしています。

ライオン井村一男

不老　出席された委員の皆さんはお気付きになられたと思いますが、組織委員会では若手の会員たちが一生懸命に働いてくれています。行動力のある若手にこの機会にいろいろなことを学び、活躍してもらう。これこそがリーダーシップだと思います。

市民と共に考える公開プログラム

澁田　7年前の仙台フォーラムは1万5千人の目標に対して実際の登録者数は1万2千人でした。今回はどれぐらいを見込んでおられるのでしょう。

井村　組織委員会としての予定登録者数は3万人。このうち日本は2万1千人の目標で、フォーラムを成功させるためには地元の福岡とホスト地区である337複合地区の九州・沖縄、そして日本全国からいかに多くの登録・参加を頂けるかが非常に重要になります。昨日の会議では各国代表からこの予定登録者数について発表があって、中には厳しい見込みをされる国もありました。各国へのPR活動は6月の釜山国際大会が終了してからとなりますが、積極的に働き掛けていきたいと思います。

不老　日本には、台湾や韓国を中心にOSEAL各国と姉妹提携を結んでいるクラブがたくさんありますから、そのつながりで呼び掛けて頂ければ、登録・参加は更に増えていくはずです。

澁田　大会プログラムの中で最も多くの参加者が集まるのは開会式ですが、会場にはどれだけの収容能力があるのでしょうか。サブの会場も準備されているようですが。

山崎　会場のマリンメッセ福岡の収容人数は1万1千ですが、隣接する国際会議場とサンパレス福岡に大型スクリーンを設置してサブ会場を設けますので、収容は可能だと見込んでいます。

澁田　開会式の当日には屋外での催しも計画されていますね。その内容を教えてください。

山崎　マリンメッセの外には海に面した広いスペースがあり、そこをフード・フェスティバルの会場として、開会式の前に昼食を楽しんで頂きます。会場内では東日本大震災の被災状況を映像で伝えたり、東北の物産を販売して被災地を応援しようという計画もあります。更に野外ステージでは九州各地の郷土芸能を披露して楽しんで頂き、午前中に開かれる地球環境セミナーの

ライオン澁田繁晴

ライオン山崎広太郎

ゲスト講演者である加藤登紀子さんの出演も予定しています。この地球環境セミナーとフード・フェスティバルは市民の皆さんにも参加してもらうプログラムです。

不老　市民公開プログラムは福岡フォーラムの大きな特徴の一つと言えるものです。地球環境の問題、そして被災地への支援について地域の方々と共に考え、ライオンズの活動をアピールしていこうという企画です。

澁田　OSEALフォーラムが開かれるというだけでもライオンズクラブのPRになりますが、市民参加型とすることで、なお一層PR効果が高まると思います。市民への広報はどうなさるつもりですか。

山崎　具体的な方法はまだ決まっていませんが、地元クラブを通じて市民に参加を呼び掛けたいと考えています。フォーラムはライオンズ会員が主体の催しですから、あまり大勢集まられても困りますし、整理券を配るなどして受け入れることになると思います。

「リーダーシップ」につながる多彩なセミナー

澁田　既にこれまでのお話に出てきた部分もあるかと思いますが、福岡フォ

第51回OSEALフォーラム日程

●11月8日（木）

時間	内容
6:30～17:00	ゴルフ・トーナメント／麻生飯塚ゴルフ倶楽部
9:00～17:00	登録受付／福岡国際会議場1階ロビー
14:00～16:00	YCEセミナー／福岡国際医療福祉学院
14:30～15:00	記者会見／本部ホテル
15:30～17:00	第2回ステアリング委員会会議／本部ホテル
17:00～19:00	YCE懇親会／ヒルトン福岡シーホーク
17:00～18:00	GMT会議／本部ホテル
17:00～18:00	GLT会議／本部ホテル
17:00～18:00	決議委員会予備会議／本部ホテル
21:30～22:30	コーカス・ミーティング／本部ホテル

●11月9日（金）

時間	内容
8:00～ 9:00	第1回協議会議長と地区ガバナーの会議／本部ホテル
9:00～17:00	登録受付／福岡国際会議場1階ロビー
9:15～10:15	国際会長と地区ガバナーの会議／本部ホテル
10:00～12:00	地球環境セミナー「生活と環境」（市民参加）／福岡サンパレス
10:00～16:00	フード･フェスティバル／マリンメッセ福岡特設会場
10:30～11:30	国際第1副会長と第1副地区ガバナーの会議／本部ホテル
13:30～15:00	開会式／マリンメッセ福岡
17:30～18:30	レセプション／本部ホテル

●11月10日（土）

時間	内容
8:30～ 9:30	第2回協議会議長と地区ガバナーの会議／本部ホテル
9:00～17:00	登録受付／福岡国際会議場1階ロビー
10:00～11:00	国際第2副会長と第2副地区ガバナーの会議／本部ホテル
10:00～14:00	リーダーシップ･セミナー／福岡国際会議場
10:00～14:00	ライオンズクエスト･セミナー／福岡国際会議場
10:00～14:00	アラート･ITセミナー／福岡国際会議場
11:00～12:00	LCIFセミナー／本部ホテル
12:00～13:00	セミナー参加者懇親軽食･ティータイム／福岡国際会議場
13:00～16:00	レディース･プログラム／福岡国際会議場
14:00～15:00	英語セミナー／福岡国際会議場
14:00～15:00	中国語セミナー／福岡国際会議場
14:00～15:00	韓国語セミナー／福岡国際会議場
14:00～15:30	総括セミナー「明日のライオンズを考える･未来への提言」／福岡国際会議場
17:00～18:00	決議委員会会議／本部ホテル
17:30～18:30	レセプション／本部ホテル
19:00～22:00	国際会長歓迎晩餐会／本部ホテル

●11月11日（日）

時間	内容
8:30～ 9:30	第3回協議会議長と地区ガバナーの会議／本部ホテル
10:00～12:00	閉会式／本部ホテル

＊本部ホテル：ホテルニューオータニ博多

ーラムならではの新機軸、福岡フォーラムらしさというのはどこにあるとお考えですか。

不老　まずは先ほどから触れているセミナーですね。組織委員会で企画しているセミナーが七つ、その他にLCIFセミナー、英語、中国語、韓国語の各言語ごとのセミナーがあります。これだけ多くのセミナーがプログラムに組まれるのは画期的なことです。多くの会員に福岡フォーラムで得るものがあった、参加してよかったと言って頂けるように、こうした企画をしたわけです。

井村　組織委員会で準備を進めているのは、地球環境セミナー、YCEセミナー、更にリーダーシップ、ライオンズクエスト、アラート・ITの各セミナーと、この三つのセミナーを総括するセミナー「明日のライオンズを考える・未来への提言」です。地球環境セミナーは国連環境計画の親善大使として活躍されている加藤登紀子さんをゲストにお迎えします。また、例年はファッション・ショーが多いレディース・プログラムは、基調講演とパネル・ディスカッションによる女性フォーラムと、着物の展示と茶席を組み合わせたユニークな企画になります。講演者はあの田中真紀子さんですから、大いに注目を集めるでしょうね。

山崎　地球環境セミナーの副題は「アジアの自然と環境について考える」で、アジアの水事情をテーマにした基調講演と、アジアの国々における具体的な事例発表、加藤登紀子さんによる講演もあります。リーダーシップ、ライオンズクエスト、アラート・ITの各セミナーは、ライオンズとして重要なテーマで、ぜひ多くの方に参加してもらい意見を交換して頂きたいです。

澁田　多様なテーマがありますから、興味のあるセミナーに積極的に出席して、その体験を持ち帰ってライオンズ活動に生かしてほしいですね。福岡らしさという点、その他のプログラムはいかがですか。

開会式の会場となるマリンメッセ福岡

不老　フォーラムを成功に導く上で重要なプログラムは、やはり開会式と国際会長晩餐会となりますので、福岡らしい演出を考えています。開会式のオープニングは度肝を抜くような力強い太鼓の演奏、サブ・ステージでは九州交響楽団が重厚な演奏で式を盛り上げます。また世界一に輝いた若葉高校の創作ダンス・チームに演技を披露してもらって、印象深い開会式を作り上げていきます。国際会長晩餐会には博多芸者に華を添えてもらう計画です。

井村　海外からの参加者へのサポートも重要になりますね。組織委員会のメンバーで、過去2回のフォーラムを視察してきましたが、その点が十分でなかったと感じました。福岡では空港に到着した時点から3カ国語で案内が出来るような態勢でお迎えすることにしています。

澁田　皆さんのお話を伺い、新たな方向性を示す有意義なフォーラムになるものと期待が膨らみました。福岡フォーラムの成功は2016年に開催が決定している福岡国際大会の成功につながるものだと思いますが、その強い意気込みも伝わってきました。本日はありがとうございました。

7年前の仙台フォーラムでは、協賛企画として「IT、女性、シニア」、ライオンズクエストなどのテーマでミニ・フォーラムが開かれた。写真はITミニ・フォーラムのグループ・ディスカッション

会場周辺MAP

福岡タワー
ホークスタウン
ヒルトン福岡シーホーク
福岡 Yahoo! Japan ドーム
ホークスタウンモール
ベイサイドプレイス博多埠頭
右下 拡大図
都市高速道路 1 号線
都市高速道路 2 号線
国道 3 号
地下鉄空港線
地下鉄箱崎線
地下鉄七隈線
大濠公園
福岡城跡
市役所
西鉄福岡（天神）駅
天神南駅
渡辺通駅
博多駅
ホテルニューオータニ博多

主会場
●本部ホテル／ホテルニューオータニ博多
●開会式会場／マリンメッセ福岡
●登録・セミナー／福岡国際会議場

■フォーラム・テーマ 「LEADERSHIP」リーダーシップをアジアから世界へ

Lions values will **E**xpand from **A**sia throughout the world through **D**etermination and **E**ffective actions that will **R**esonate with people everywhere. We will develop **S**trategies of **H**ope using **I**ntelligence to promote **P**ositivity for everyone.

OSEALフォーラムを通じて、ライオンズの真価は、積極的な行動と効果的な決断によって、あらゆる人々に響き渡り、アジアを通して世界へ広がります。我々は誰もが知性と希望に満ちあふれ成長するよう努力していかねばなりません。

■公式ウェブサイト www.oseal2012.com

第51回東洋·東南アジア·ライオンズ·フォーラム組織委員会事務局
〒810-0004　福岡市中央区渡辺通1-1-2　ホテルニューオータニ博多5階
TEL 092-741-8601／FAX 092-741-8607
E-mail lc51forum@iaa.itkeeper.ne.jp

天神エリアのカフェ

福岡ナビ

「おもてなし」の街 福岡へ遊びにきんしゃい！

写真と文／（公財）福岡観光コンベンションビューロー

昨年3月にリニューアルしたJR博多駅から、オシャレなカフェやセレクトショップが集まる大名、天神エリアまで、楽しみ所が満載の福岡を紹介します。

古くから国際貿易都市として栄えた福岡。実は、京都・奈良に次いで寺社仏閣が多い都市でもあり、博多駅近くには多くの古寺や神社が建ち並びます。

櫛田神社

福岡大仏（東長寺）

近年は定期便の他、中国、韓国からのクルーズ船が行き交い、外国航路旅客数で日本一の博多港、アジアとの直行便が多数往来する福岡空港と、九州のゲートウェイとして機能しています。開放的で自由な雰囲気と、おもてなしの気持ちで、訪れた人を温かく包み込む街です。

博多湾を包むように広がる福岡は、志賀島や海の中道、能古島などの自然豊かなリゾートと都市の魅力が共存し、絶妙なバランスで調和する心地良い街です。福岡空港から市中心部まで地下鉄で10分、市中心部から主要な観光スポットまで20～30分で移動出来るコンパクトさも魅力で、ショッピングも便利です。都心部には緑が多く、四季の花々を楽しめる公園もたくさんあり、都市と自然が調和するコンパクトシティ。一年を通して四季折々の自然が街を彩り、歴史と伝統に培われた祭りの躍動感にあふれ、音楽、スポーツ、舞台など、旅行者を引きつけてやまないエンターテインメントも満載です。

秋の能古島

福岡城南ノ丸多聞櫓

春は福岡城跡の桜が見頃を迎え、桜

追い山（博多祇園山笠）

が終わると、さまざまな装いに扮した人々がしゃもじを叩いて練り歩く「博多どんたく港まつり」でお祭りムードに。祭り本番、夏になると7月1日から15日間、博多の街は「博多祇園山笠」一色に！　七つの流れの組が、重さ約1トンもの舁き山を男たちが入れ替わりながら担ぎ、博多部を走り抜ける追い山（15日早朝）は、国内外の人々を魅了する、福岡・博多を代表する迫力満点のお祭りです。秋（9月）になると「福岡アジアマンス」と題されて、アジアフォーカス・福岡国際映画祭やアジア太平洋フェスティバル福岡などが開催され、11月まで市内を中心にアジア一色となります。11月には大相撲九州場所も開催され、秋はアジアの文化と日本の文化が楽しめます。冬になると、クリスマス・イルミネーションで天神・博多の街はキラキラと幻想的な空間に。

福岡の魅力をより深く知ることが出来る体験&まち歩きプログラム「ふくおか福たび」では、毎日開催されているものから旬の福岡を満喫するプログラムまで勢ぞろいしています。気軽に参加して素敵な思い出を作ってください。

博多どんたく港まつり

オススメ観光

今年の３月に運行を開始した「FUKUOKA OPEN TOP BUS（市内観光・２階建てオープンバス）」は風を感じながら観光出来る、今、一押しのメニューです。コースは３コース。ぜひチェックしてください。

福岡アジアマンス

福岡ナビ

軒を並べる屋台（中洲）

食の宝庫、福岡の「うまい！」を食べ比べ

日本屈指の美食の街としても有名な福岡。食の都とも呼ばれる福岡は、おいしいものがあふれる街。全国で有数の水揚げ高を誇る鮮魚市場（市場内では自慢の食材を使うお食事処もあります）からの新鮮な魚介類や、屋台といったユニークな食文化、水炊き、もつ鍋、ラーメンなどの名物料理にも注目です。気になるものをチェックして、ぜひ食べに来てください。

柳橋連合市場

福岡の名物専門店でぜいたくに味わいたい ふく

「ふく」といえば冬というイメージがありますが、マフグやゴマフグ、カナトフグなど、福岡では高級魚・ふくが、一年中おいしく味わえます。

「ふくおか福たび」（福岡の体験＆まち歩き）
http://yokanavi.com/jp/fukutabi/

魚介の宝庫
玄界灘の幸

魚介の宝庫・玄界灘から直送される魚は、安くてうまい！　福岡の飲食店では、脂がのった旬の刺身を手頃な値段で味わえます。

スケトウダラの卵を調味液で味付けした博多名物
辛子明太子

ピリッとした味わいとプチプチとした食感は、そのまま食べても、料理に使っても美味。発祥の地で本場の味を堪能してください。

100年の歴史を持つ伝統料理
水炊き

骨付きの鶏肉でじっくりダシをとったスープで食べる鍋料理。コラーゲンたっぷりで美肌効果も大！　塩を入れてスープを飲むのも博多ならでは。

キャベツの上に多彩なメニュー
焼き鳥

鶏だけでなく、豚や牛、魚介類など種類が多いのが特徴。山盛りキャベツにのせられたアツアツの串たちを味わおう。

こだわりスープで楽しむ
もつ鍋

牛の内臓を「もつ」と呼び、カツオや昆布などでとったダシに醤油や味噌で味付けする。それぞれの店が腕をふるう自慢のスープとの相性を楽しんで。

本場でとんこつ&極細麺を楽しもう
ラーメン

細い麺にしっかりとからむ濃厚なとんこつスープが特徴。残ったスープに麺だけをお替わり出来る「替え玉」がある店も。

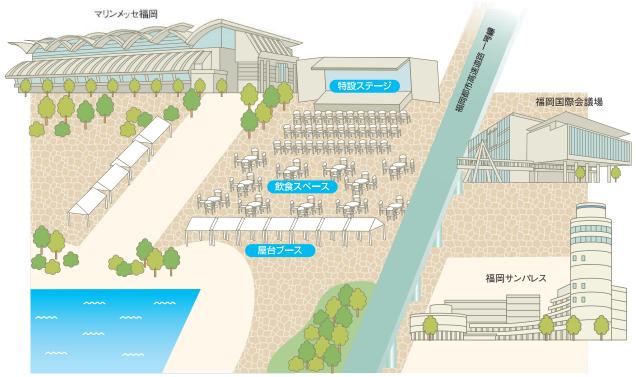
発祥の地ならではの美味
うどん

やわらかい麺と上品なだし汁が特徴の博多うどん。福岡はうどん・そば発祥の地とも言われ、ごぼう天などオリジナルのトッピングにも注目。

箸が止まらない一口サイズ
餃子

うま味をぎゅっと凝縮した小さな餃子は、専門店やラーメン店、屋台で食べられます。

第51回OSEALフォーラム・福岡

フードフェスティバル&バザール
出店公募

※イベントスペースのレイアウトは、未定です。当日は変更になる場合があります。

福岡フォーラムでは目玉企画の一つとして、開会式と同時進行で「フードフェスティバル&バザール」を開催致します。出店は337複合地区を中心に全国のライオンズクラブから公募致します。当日は2万人を超える来場者を見込んでおりますので盛況が予測されます。この機会に日本全国、更にはアジアのライオンズに対し、皆さんの郷土をアピールしてはいかがでしょう。

第51回福岡OSEALフォーラム
組織委員会委員長　不老安正
実行委員会委員長　井村一男

日　　時：平成24年11月9日(金)
10:00〜16:00予定

場　　所：福岡市博多区沖浜町博多ぴあトピア、エキシビジョンパーク、イベントスペース

許可申請：各自保健所に許可を取ってください

※出店ご希望のクラブは、各地区キャビネットを通じて組織委員会事務局へお申し込みください。
※会場は野外となりますが、出店ブースと食事席にはテントを設置致しますので雨天でも販売可能です。

●東日本大震災の被災地・東北の物産コーナーも企画致しております。
●同一会場で九州各地の郷土芸能を披露すると共に、加藤登紀子さんのライブも行われます。

第51回OSEALフォーラム・福岡
2012年11月8日(木)～11日(日)

レディース・フォーラム

日時：11月10日(土) 13:00～16:00
場所：福岡国際会議場2階

第 1 部

講演

「時代の曲がり角に立って」

田中眞紀子
(衆議院議員　民主党・無所属会派)

＜略歴＞

1993年　7月　衆議院議員　無所属で初当選
1994年　6月　科学技術庁長官就任（村山内閣）
1996年10月　衆議院議員　自由民主党で2回目当選
2001年　4月　外務大臣就任（小泉内閣）
2003年11月　衆議院議員　無所属で4回目当選
2009年　8月　衆議院議員　民主党で6回目当選
2009年　9月　衆議院文部科学委員長就任
2011年　9月　衆議院外務委員長就任
現在に至る。一男二女の母

＜著書＞

『時の過ぎゆくままに』（主婦と生活社）
『私の歳時記』（海竜社）
『問答有用』（朝日新聞社）
『頭脳(あたま)の散歩』（ポプラ社）

＜趣味＞

園芸、水泳

＜受賞＞

理想の家庭教師賞
エグゼクティブファッションアワード
マドモアゼルパルファン賞
ベストスマイル賞
着物姿をみてみたい著名人第１位
ベストジーニスト賞
ナイスカップル賞
流行語大賞　他

第 2 部

ライオンズのすばらしさ
女性会員の増強を目指して　及び教育

10:00～17:00　福岡国際会議場2階フロアーにおいて

●着物で綴る女の一生(着物展示)　●抹茶とお菓子サービス　●九州の女 作家展及び販売

＊参加される方はOSEALフォーラムにご登録をお願いします　＊男性の参加も大歓迎です　＊入場、茶菓のサービスは無料です

被災地のライオンズは今

岩手県・大槌ライオンズクラブ

出来ることから一歩ずつ着実に前進

震災から10日余り、ライオン誌の種市一二委員（釜石ライオンズクラブ）と共に入った大槌町は、日本赤十字社の近衛忠輝社長が「私が見た中で最悪の被害」と語ったように、まさに壊滅状態だった。大槌ライオンズクラブ（大萱生修一会長／12人）もライオン千葉新市、ライオン島津拓、ライオン山崎龍太郎の3人と、事務局の岩舘町子さんを津波で失い、大萱生会長以外は自宅と事業所、もしくはそのどちらかを流されていた。そんな状況の中、会員たちは6月になって、クラブを存続するかどうか話し合った。

「全国のクラブが炊き出しだ、支援物資だと大槌に入って活動してくれている中、地元の我々が止めますとは言っていられないだろう、と存続を決めました。ただ、実際問題として動ける人間がいないので、幸い寺が無事だった私が会長、自宅が残ったライオン和田啓二とライオン田中幸郎がそれぞれ幹事、会計を引き受けることになりました」（大萱生会長）

震災後、最初の例会は大萱生会長が副住職を務める大念寺で行った。当時、寺は避難所となっていたため、本堂にテーブルを並べ、集まることが出来た8人の会員が、お茶を飲みながら話し合った。例会での審議事項は、ほとんどが全国のクラブからの協力要請や、地元からの支援要請への対応についてだった。

大槌町中心部。上：2011年3月24日／下：2012年3月9日

ライオンズでは332-B地区（岩手／髙橋晴彦地区ガバナー）内のクラブを始め、茨城県・水戸葵ライオンズクラブや同・常陸太田ライオンズクラブなど、他地区からも多くのクラブが支援に訪れていた。連絡があった場合は、それらに協力するなど対応に当たっている。また、大槌にあった四つの小学校はすべて被災し、新たに大槌小学校として4校が統合されることが決まっている。

この新設される小学校への支援や、荒れ果てた大槌川の河川敷に菜の花を咲かせようと活動するボランティア「菜の花プロジェクト」への助成などを、クラブの資金や各地のライオンズから寄せられた支援金で実施している。

「水戸葵ライオンズクラブは5日間通しでの炊き出しを始め何度も出向いてくださり、1月にはそのお礼を兼ねて例会訪問をさせて頂きました。他にも我々が知らないところで、多くのクラブが大槌を支援してくださっているようで、全国のライオンズの皆さんに勇気付けられています。約1400人もの町民を失い、人口流失も続く厳しい環境ではありますが、出来ることから一歩ずつ前進し、次年度は何とか会員増強を図って、大槌ライオンズクラブの存在を示せるようにしたいと思います」

と、大萱生会長は話す。（取材／鈴木秀晃）

吉里吉里地区の高台に建てられた大槌ライオンズクラブの事務局兼例会場。3月末に建築確認が取れ、現在はここで毎月第2・第4火曜日の昼に例会を開いている

宮城県・山元ライオンズクラブ

町民から寄せられたライオンズへの感謝の声

　宮城県沿岸部の最南端にある山元町は、福島県新地町と接し、福島第1原子力発電所からは50〜60キロの距離に位置している。津波によって町内の居住可能地域の半分が浸水、死者670人、25人が行方不明となる大きな被害を受けたが、震災からしばらくは町の状況が報道されることはほとんどなかった。原発事故の影響でいつ避難を迫られるかもしれず、町では報道関係者の受け入れを断っていたのだという。そのため市民レベルの支援が届きにくく、水や食糧などの物資は自衛隊による救援に頼っていた。そうした中、いち早く支援の手を差し伸べたのが、334-B地区（岐阜・三重）だった。同地区は迅速な災害救援のための組織、ライオンズクラブズ・ネットワークを設けている。そのメンバーが隣の新地町へ支援に訪れた際に山元町の被災状況を知り、地区全体に呼び掛けて物資を集めて、4月1日に運んできてくれた。

高さ10メートルを超えた津波にライフラインが途絶え、JR常磐線の駅舎や線路が流失。鉄道は今も復旧していない

　その後、多くの支援物資が寄せられるようになったが、受け入れ側にとっては困った問題も生じた。支援物資の量に比べて、それを配布する人員が不足していた。震災時の会員は15人。幸い犠牲者はなかったが、建物の全壊が2人、床下浸水が2人、その他の会員も自宅や会社に一部損壊の被害を受け、身内を失った会員もいる。身辺の対応に追われつつ、家族も動員して物資の配布に取り組んでも手が足りなかったと、大内宏之会長は振り返る。山元ライオンズクラブに限らず、被災地の多くのクラブが、受け入れた大量の物資を配布するマンパワーの不足に直面していた。

　もちろん、実際に山元町まで足を運んで支援したクラブ、会員も多い。

「全国の皆さんとアクティビティについて話し合う機会を持てたことが大きな収穫」

　そう話す大内会長に、震災後、ライオンとしての誇りを強く感じさせたことがある。県内外の避難先から戻った町民に「避難先のライオンズにお世話になった」と感謝されたことだ。クラブ事務局へ電話が入ったり、知り合いから直接お礼の言葉を伝えられたこともあった。ライオンズの支援で毛布をもらったと言う人、遠く九州の避難先でライオンズによる避難者の交流会に参加し元気づけられたと言う人、「ライオンズクラブは全国にあるんですね。本当にありがとうございました」という声が、大内会長に勇気と力を与えた。

　クラブは震災以降、2人がやむを得ない事情で退会したが、現在は会員候補者1人が、ゲストとして例会に出席しており、近く仲間に加わってくれると期待しているところだ。

　山元町の人口は震災前の1万6000人から、今年4月までに2千人余り減少している。津波被害からの復興と共に、放射性物質の除染が今後の大きな課題だ。

「これから新しいアクティビティのニーズが増えていくと思います。地区、そして全国のライオンズと協力しながら、地域のために活動していきたい」

　と、大内会長は奉仕の誓いを新たにしている。

（取材／河村智子）

神奈川県・川崎富士見ライオンズクラブから、町内の小学校3校に100万円分の図書の寄贈があり、2月16日に寄贈式が行われた

■国際理事
高田順一
（富山昭和）

サンフランシスコ国際理事会にて

第3回国際理事会が、4月13日から17日まで、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ市で開催され参加してきました。サンフランシスコは霧のゴールデンゲートブリッジや急な坂道を上り下りするケーブルカーの街として有名ですが、私たち日本人にとっては戦後の1951年、日本が国際社会に復帰を果たしたサンフランシスコ講和条約が調印された地として忘れることが出来ません。

ウィンクン・タム国際会長は理事会の開会式で「この街で国際理事会を開催することが私の夢でした」と話されました。それは香港から青雲の志を持ってアメリカに渡り、青春の一時期を過ごしたこのサンフランシスコは、会長にとって第二の故郷だからです。

サンフランシスコにはアメリカで最大のチャイナタウンがあります。中国系ライオンズクラブを多く含む4-C地区ホスト委員会が私たちを熱烈歓迎してくださいました。ホスト委員会には日系人会員もいらっしゃいました。シリコンバレーで有名なサンノゼには1年前にジャパニーズ ライオンズクラブが結成され、会長夫妻始め多くの会員が懇親会場に駆けつけてくださいました。ケイ・K・フクシマ元国際会長も4月1日に行われた日本ライオンズ・メンバーシップ・セミナーから戻られたばかりでしたが、私たち日本の理事と理事会アポインティーを激励するためサクラメントからお越しになられました。

理事会開会式にはサンフランシスコ市長夫妻も出席され、エド・リー市長はごあいさつの中で「ライオンズクラブでは95年の歴史の中で初めての中国人国際会長が誕生しましたが、当市では市制160年にして初めて中国系アメリカ人である私が市長に選ばれました」と、中国人や中国系アメリカ人が高い評価を受けていることに感慨と意義を覚えると述べられました。

私はライオンズの特徴も、同様に歴史に基づく国際性と多様性にあると思います。1917年、アメリカ・シカゴでライオンズクラブが誕生。「We Serve」の崇高な精神は世界中から支持され、現在207の国と地域に広がっています。95年の歴史を経て、クラブ運営には各地域の文化が色濃く反映されるようになってきました。国際協会では文化の違いを認めつつ、ライオンズの存在価値を高めることに腐心しています。

そのために国際協会が取り組んでいるプロジェクトの一つが、プロジェクト・リフレッシュです。世界各国の会員、元会員、非会員を対象に意識調査を行い、多層的に解析することで、今後のクラブ価値を高める戦略を立案しようとしているものです。日本については重要国であり、「DEEP DIVE」と言われる、より深い解析がなされています。今回の理事会では全理事が参加してブレーン・ストーミングを使った3時間のディスカッションを行いました。

プロジェクト・リフレッシュについては釜山国際大会日本語セミナーの中で、私がプレゼンテーションを行いますのでぜひ参加してください。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

記念例会後に行われた懇親会のフィナーレは280人のライオンによる「また会う日まで」の合唱。震災後に育まれた「絆」を象徴するような光景だった

チリ地震津波から東日本大震災まで 50年の歴史を紡いで

4月21日、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県・南三陸志津川ライオンズクラブ（小坂克己会長／36人）の結成50周年記念例会が開催された。例会には所属する332-C地区（宮城／中嶋慶次地区ガバナー）の35クラブと、復興支援活動で南三陸志津川ライオンズクラブとつながりが出来た14地区24クラブの会員ら280人が出席。あいさつに立った小坂会長は、「3月11日の震災以来、我々南三陸の町民は、たくさんの深い悲しみを抱き、辛い涙を流して、これまで過ごしてきました。しかし、国内外の皆様からたくさんの支援や励ましを頂き、多くの方々に見守られながら、ライオンズクラブの一員として奉仕活動が行えることに心から感謝しております」

と述べた。また、メンバーズ・スピーチの中で、ライオン高橋長偉とライオン佐藤仁（南三陸町長）もそれぞれ、

「当クラブは50年前、チリ地震津波の際にライオンズが支援に駆け付けてくれたのをきっかけに誕生しましたが、今回の震災でも同じように、ライオンズクラブの歌にある『自由 信頼 叡智のきずな』を遺憾なく発揮され、くじけそうになる住民の心を支えてくださいました。この絆を大事にしたい」（ライオン高橋）

「チリ津波の翌年に作られた小学生の文集に『大人になったらライオンズクラブのおじさんのような立派な人間になりたい』という一文がありました。今回の震災でも多くの町民が、その時の小学生と同じ思いを持ったのではないでしょうか」（ライオン佐藤）

と、全国の獅友に対する感謝の気持ちを表しながら、復興に向けて前進していくことを誓った。

国際第2副会長候補者

２０１２-13年度国際第２副会長候補者は８人。釜山国際大会で６月26日に選挙が実施される。

ハリ・アラ・クルジュ　クルジュ元国際理事は77年にフィンランドのエスポー・ケスクスタ ライオンズクラブに入会。保険会社社長で、協会においてはクラブ会長、キャビネット幹事、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区ガバナー、協議会副議長、協議会議長、フィンランドのエクステンション・チームのリーダーなど多くの役職に就いてきた。１００％クラブ会長賞、複数の地区ガバナー表彰、１００％地区ガバ

公式通達

2012年国際大会（韓国・釜山）

以下の国際付則改正案が2012年国際大会において提出され、代議員の票決を受けます。本改正案の可決には過半数の賛成投票が必要です。

第1項：会員の義務、並びに権利と特権を示す表を国際付則より取り除く決議案。本決議案の可決に伴い、これらの表は理事会方針書の会員種別の項目に移される。

下記の決議案を承認すべきか？

国際付則第11条第7項の第1段落第3文を全文削除し、以下と差し替えることにより改正する。

それぞれの種別は、国際理事会の方針に従って定められる権利、特権、義務を有する。

更に、国際付則第11条第7項を、47ページに示される「義務」の表、並びに48ページに示される「権利と特権」の表を削除することにより改正する。

ライオンズクラブ国際協会
第95回国際大会
公示

国際付則第6条第2項に則り、ここに2012年国際大会の公式通達を致します。第95回国際大会は、韓国・釜山で開催されます。大会は、6月22日午前10時に開会し、6月26日に閉会します。本大会の目的は、国際会長、第1副会長、第2副会長並びに17人の国際理事の選出、及び本大会前に正規の手続きを経て提出されたその他事項の処理にあります。

釜山は、数々の高級レストランや名所のある活気にあふれた国際都市。青い山々と川、そしてすばらしい浜辺に囲まれた、世界で最も美しい都市の一つでもあります。温和な気候、独特の韓国文化、特に新鮮な海産物を使ったおいしい料理を心ゆくまで楽しんで頂けるはずです。

大会期間中は、仲間との親睦を交わし、楽しみと研修の機会でいっぱいの、いつまでも心に残るすばらしい体験が出来る時です。感動的なフラッグ・セレモニー、お祭り気分にさせてくれるインターナショナル・パレード、多様な文化を織り交ぜた活気のあるインターナショナル・ショーなど、数多くの伝統的な催しを楽しんで頂けることでしょう。大会総会は、世界保健機関事務局長のマーガレット・チャン博士による基調講演、2012年人道主義大賞授与式、そして2012-2013年度国際会長及び地区ガバナーの就任式など、盛りだくさんの内容です。

韓国のライオンズが大会参加者を歓迎し、この大会があらゆる点ですばらしい大会となるよう尽くしてくれることでしょう。そして、「We Believe(われわれは信じる)」という力と、不朽の価値を持つライオンズという家族の絆を鮮明に示してくれるはずです。ぜひともこの特別なライオンズ行事にふるってご参加ください。

2012年5月7日
アメリカ・イリノイ州オークブルックにて
心をこめて

ライオンズクラブ国際協会
国際会長　ウィンクン・タム

ナー賞、複数の国際会長感謝状、8回の国際会長賞、国際親善大使賞を含む数多くの賞を受賞している。

フィル・ネーサン　イギリス・アールスコルンのライオンネーサンは1999～01年国際理事。82年から会員で、89年サウス・ウッドハム・フェラーズライオンズクラブチャーター・メンバー。株式仲買人、会社重役。06年ヨーロッパ・フォーラム委員長。八つの慈善信託を管理し、業界、市民・地域の組織で活躍。01年エリザベス女王の承認によりMBE叙勲。

スティーブン・シェラー　アメリカ・オハイオ州ニューフィラデルフィアのシェラー元国際理事は公認会計士で、80年からデンバー ライオンズクラブ会員。累進MJFであり、国際大会に19回、アメリカ／カナダ・リーダーシップ・フォーラムに13回出席している。GMTエリア・コーディネーターを務め、国際親善大使賞、リーダーシップ・アワードなどいくつかの国際的アワード受賞。地域で優れた市民の表彰を受けた他、業界や地域組織で活躍している。

サリム・ムサン　レバノン・ベイルートのムサン元国際理事は、97年の第80回国際大会で国際理事に選出された。貿易会社を所有し、多くの業界、地域組織に貢献。国際理事会アポインティーを2回、地区ガバナー・エレクト・セミナーのグループ・リーダーを2回務めた。国際大会に24回、100以上のフォーラムや地域会議に出席。第23回南アジア・アフリカ・中東ライオンズ・リーダーシップ・フォーラムの委員長を務めた。レバノンのライオンズ眼科センター創設者。

G・ラマスワミー　ラマスワミー元国際理事はインド・コインバトール在住で、85年にアヌール・タウン ライオンズクラブ入会。96～98年国際理事で、900人以上の新メンバーをスポンサーしたことで認められている。324複合地区において3万人から10万5千人の会員増強に拍車を掛けた。99・00年度、05・06、06・07年度の国際理事会アポインティーを務めた。ライオンラマスワミーは実業家で数々の業界、市民、地域の表彰を受けている。

ジョー・プレストン　アメリカ・アリゾナ州デューイーのプレストン元国際理事は、74年にメサ・ホスト ライオンズクラブに入会し、現在はブラッドショー・マウンテン ライオンズクラブに所属。フォード販売代理店フリート販売マネージャーで、協議会議長、地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソン、MERL委員長を含む多くの役職を務めてきた。94年のフェニックス国際大会、03年ポートランドのアメリカ／カナダ・フォーラムの委員長も務めた。国際親善大使賞他の表彰を受けた。

フランシスコ・ファブリコ・デオリベイラ・ネトネト元国際理事は85年にブラジルのカトレ・ドロカ ライオンズクラブに入会。事業家、企業経営者で、ライオンとして地区ガバナー、協議会議長、地区LCIF委員長、視力ファースト委員会委員長その他の役職を務めてきた。国際会長感謝状6回、パラダイム・メダル、リーダーシップ・メダル、国際会長メダル2回を含む数多くの賞を受賞。

ジョバンニ・リゴーネ　リゴーネ元国際理事は69年にイタリアのパヴィア・ホスト ライオンズクラブに入会。エンジニア関連企業経営者で、クラブ会長、地区ガバナー、協議会議長、GLTエリア・リーダーを含む多くの役職に就いてきた。92年ヨーロッパ・フォーラム委員長。国際会長賞21回、国際親善大使賞を含む多くの賞を受賞。

釜山国際大会最新情報

登録者数5万人超えで過去最大規模となる釜山国際大会。インターナショナル・パレードや閉会式での新国際会長就任式が大会のハイライトだが、他にもインターナショナル・ショー、クラブ運営や奉仕活動のヒントとなるセミナーなど多様なプログラムが組まれている。また展示場には国際本部各部署のブースが設けられ、本部スタッフが対応する。今大会では、通常は英語のみで行われるセミナーに通訳がついたり、日本語を含むアジアの言語で各種セミナーが用意されている。OSEALでの国際大会ならではの充実した参加体験が得られるはずだ。

【基調講演】

大会最終日6月26日の第3回総会（閉会式）で基調講演を行うのは、世界保健機関（WHO）事務局長のマーガレット・チャン博士。中国出身、香港政府

衛生署署長を務め、WHOにおいて97年のH5N1型鳥インフルエンザ、03年の香港における重症急性呼吸器症候群（SARS）への対応の指揮を執った。

【人道主義大賞】

2011・12年度の人道主義大賞受賞者は、中国身体障害者連合会の鄧樸方名誉会長に贈られる。授賞式は6月25日第2回総会の中で行われる。

【日本語セミナー】

大会期間中は日本語によるセミナーやイベントが多数行われる。現時点の日程、スピーカーは以下の通り。会場は釜山エキシビション＆コンベンションセンター（BEXCO）。

■LCIFセミナー［ミニ・セミナー］
6月22日（金）13時半～14時　展示ホール内
プレゼンター：栢森新治元国際理事

■GMT／GLTラウンジ
6月23日（土）14～16時　国際本部ブース周辺
会則地域リーダーやエリア・リーダーに、会員増強やリーダーシップについて質問したり、意見を交換したりすることが出来る

■ソーシャル・メディア・ラウンドテーブル［ミニ・セミナー］
※6月24日（日）13時半～14時　展示ホール内
プレゼンター：寒河江潤一332・E地区幹事

■「クラブ・サクセスの秘訣」セミナー
6月24日（日）14～16時　M202号室
プレゼンター：高田順一国際理事、後藤隆一元国際理事、後藤忍331複合地区元議長、松井和子337・A地区ガバナー・エレクト、川手寅平330・B地区次期第1副地区ガバナー

■協議会議長セミナー［役職別セミナー／事前登録した2012・13年度協議会議長のみ］
6月24日（日）14～16時

■オンライン学習センター［ミニ・セミナー］
6月25日（月）13～13時半　展示ホール内
プレゼンター：後藤隆一元国際理事

■「今日・そして明日の奉仕」セミナー
6月25日（月）13～15時　M202号室
プレゼンター：山浦晟暉国際理事、秦従道国際理事、山田實紘国際理事会アポインティー、宮田謙332複合地区議長、河合悦子元330・A地区ガバナー

■ゾーン・チェアパーソン・セミナー［役職別セミナー／ZC以外の会員も参加可／事前登録が望ましいが当日参加可］
※6月25日（月）14～16時
プレゼンター：クレメント・クジアク元国際会長、ソムサクディ・ロヴィス元国際理事、ウェイン・デイビス元国際理事、団英男335・A地区ガバナー（日本語ファシリテーター）他

■ITデモ
参加者が集まり次第随時実施　IT部ブース周辺
プレゼンター：国際本部スタッフ

※印は5月号当欄掲載の日程に一部変更あり。日時と会場は現地で配布される大会プログラムで確認を。

東日本大震災被災50クラブの次年度上半期会費免除が決定

山浦晟暉国際理事によると、4月13日～18日に開催された春季国際理事会において、東日本大震災で被災した50クラブの2012・13年度上半期国際会費を免除することが決まった。被災クラブに対しては昨年4月の国際理事会で2011・12年度上半期、秋の理事会で同下半期の国際会費免除が決定され、下半期分で56クラブが適用を受けていた。

サンフランシスコ理事会の決議事項要約は、本誌7月号に掲載予定。

会議録

第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（3月31日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、岡本正治、迫越正彦、椿幸雄各議長、山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事）

第Ⅰ部：国際役員との懇談①国際理事のあいさつと情報②2011・12全日本会員増強アワード審査③タイ洪水義援金プロジェクトの進捗状況　第Ⅱ部：議長協議①講師育成研究会（FDI）②（333複合地区提案）東日本大震災義援金関連の報告③各委員会・会議報告の確認④「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」後援名義の使用許可願い　第Ⅲ部：日本ライオンズ連絡事務所運営関係①財務報告②上半期会計監査報告③各種確認事項④2012・13年度予算の作成　第Ⅳ部：その他

第8回東日本大震災復興支援対策本部会議（3月31日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事、小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、岡本正治、迫越正彦、椿幸雄各議長、中居雅博、髙橋晴彦、中嶋慶次、久保田善九郎、照井一美各地区ガバナー、桜井孝一〈グロ

ーバル・アシストチーム〉、吉田宗一郎〈監査役〉各オブザーバー）
①332複合地区からの申請②グローバル・アシストチーム（GAT）関係③今後の支援計画について

第9回ライオン誌日本語版委員会（4月5日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：山浦晟暉、高田順一両国際理事、宇田川雄弘、後藤忍、種市一二、高濱正敏、矢口武克、竹本實生、小田邦雄、澁田繁晴各委員、小峰理孝議長、荘英隆、辰巳博昭〈オンライン〉、小柴登司〈オンライン〉各ITアドバイザー）
①ライオン誌日本語版事務所の運営②2012年4月号（10万3200部発行）出来③5月号記事内容の確認④6月号以降台割（案）と主要記事予定⑤その他

第4回複合地区YE委員長連絡会議要録（4月6日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：大熊泰雄、山形積治、吉田亮、岡田繁雄、芹澤忠久、吉田宏、宇髙昭造、山本正廣各委員長）
①夏期交換(A)派遣生(B)来日生②次年度への申し送りについて③その他

フィリピン・マニラで講師の技能を学習する研究会

地区、複合地区レベルの講師を育成するため、国際本部リーダーシップ部主催で会則地域ごとに年1回開かれる講師育成研究会（FDI）が、4月13日～16日、フィリピン・マニラのマニラ・マリオット・ホテルで開催された。日本語クラスの受講者は8人で、武藤博昭330・C地区ガバナー、北島健則元337複合地区議長の指導の下でプレゼンテーションや授業設計の技能を学習した。指導に当たった武藤ガバナーは、「翻訳の関係で日本語版教材に理解しにくい部分があるなど多少の問題点はあったが、受講者の皆さんは非常に熱心に取り組んでいた。各複合地区、地区においては、セミナーや研修の講師として研究会修了者を活用してほしい」と話している。日本の受講者は以下の通り（※の役職はこれまで務めた最高役職）。ライオン小川晶子（330複合地区／地区家族会員・女性参加推進委員長／東京ウィル）、ライオン高橋澄栄（330／地区会則・長期計画・GLT委員長／埼玉県・戸田）、ライオン北島孝雄（331／※ゾーン・チェアパーソン／北海道・木古内知内）、ライオン安澤荘一（332／第2副地区ガバナー／福島県・白河小峰）、ライオン大瀧勝明（333／地区青少年育成・レオ委員長／千葉県・君津）、ライオン岡本正治（334／複合地区ガバナー協議会議長／福井県・敦賀みなと）、ライオン渡部雅文（336／第1副地区ガバナー／岡山県・倉敷西）、ライオン鬼塚俊郎（337／※地区ガバナー／鹿児島県・国分隼人）。

新結成／解散

■新結成クラブ
熊本県・肥後熊友（木下時夫会長）▼3月29日結成▼スポンサー／熊本ディアマンテ
群馬県・伊香保県央（田島靖彦会長）▼3月30日結成▼スポンサー／高崎
東京レスキュー（高橋長生会長）▼4月16日結成▼スポンサー／東京上野東
兵庫県・神戸北野（山田芳信会長）▼4月25日結成▼スポンサー／神戸中央

■解散クラブ
（2012年4月）栃木県・真岡いきいき

訃報

■元国際役員
ライオン松原文彌（北海道・札幌クラーク）
4月20日死去、88歳。68年入会。89年度331・A地区ガバナー。94年、アメリカ・アリゾナ州フェニックス国際大会で国際理事に就任。協会の最高の栄誉である国際親善大使賞を受賞している。

ライオン山口孝雄（兵庫県・播磨）
3月31日死去、87歳。92年度335・D地区ガバナー。

ライオン小鍛冶隆一（奈良）
5月3日死去、90歳。90年度335・C地区ガバナー。

■献眼
2月＝ライオン米山永喜（千葉県・松戸中央）／3月＝ライオン山口勝治（静岡県・裾野）／ライオン萩藤貞幸（兵庫県・山崎）

pick up
ピックアップ

地区年次大会

全国35地区の今年度を締めくくる それぞれの地区年次大会

毎年、桜の便りと共に開幕する地区年次大会。今年は4月7日から5月20日まで、ゴールデンウィーク終盤の週末を除く毎週末に、全国35地区のどこかで大会が開かれていた。懸案事項の審議や承認、次なるリーダーの選出など地区にとって重要な問題が扱われる場であると同時に、他クラブの会員と親交を深め、情報を交換する場ともなる年次大会。各地区は式典の簡素化、合理化を図ったり、市民を巻き込むプログラムを盛り込んだりと、それぞれにアイデアを練り工夫を凝らしている。今年度の年次大会の模様を、地区へのアンケートの回答を交えながらリポートする。

（取材／河村智子）

今年度最初の年次大会は最南端の地で

今年、全国35地区の先頭を切る337-D地区（鹿児島・沖縄）年次大会は、4月7日、沖縄県石垣市で開かれた。日本で最も早い底地ビーチの海開きが2週間余り前に終わり、既に夏本番かと思われたが、大会当日は曇天で強い海風が吹き付けていた。青空のイメージが強い沖縄だが、実は晴天率は全国でいちばん低い。そう教えてくれたのは、同地区で初めて離島のクラブから就任した、識名安信地区ガバナーだ。

青空には恵まれなかったが、大会参加者は石垣空港でライオンズを歓迎する垂れ幕に迎えられ、会場の石垣市民会館では白保地区に伝わる獅子舞の出迎えを受けた。

大会式典は、今年度の新会員に登壇してもらい入会を祝うセレモニーや、感動的なアワード贈呈式など、厳粛な雰囲気。続くガバナー晩餐会は八重山ライオンズクラブメンバーによる幕開きの伝統舞踊に始まり、泡盛を酌み交わしつつ、和やかな雰囲気で進行した。

識名ガバナーに握手で迎えられて壇上に上った337-D地区の新会員たち

翌日の『八重山毎日新聞』オンライン版は「大会式典会場から晩餐会の会場までの移動でタクシーも長蛇の列を作り、晩餐会では石垣牛1頭が振る舞われるにぎわいよう。会員の大半が企業経営者だけに、石垣島大会開催の経済効果は600人規模では収まらないのでは?」と、大会開催を報じていた。

日本最南端のクラブ、八重山ライオンズクラブは、今年度結成50周年にして初めて地区ガバナーを輩出した。

「沖縄リジョンでは毎年、県内のクラブが集うリジョン大会を開いていて、石垣ではこれまでに二度開催していますが、年次大会は初めて。次は50年後になるかもしれない。識名ガバナーの就任で、年次大会はぜひとも地元で開いてほしいと、クラブ一丸となって準備に取り組みました」

田場由昭大会委員長はそう話し、地元石垣での年次大会の日を喜びと共に迎えていた。

337-D地区は鹿児島から石垣島まで千キロを超える範囲に及び、南西諸島には八重山ライオンズクラブの他にも離島のクラブが点在している。

「石垣からガバナーが出て、無事に年次大会を開催出来たことが、他の離島クラブの励みになって、ガバナーに立とうという有望な人材が出てきてくれたらいい」

と、識名ガバナーは期待を寄せる。

市民参加、震災支援など多様な企画

今年度の年次大会を前に、本誌は35地区のキャビネットにアンケートを実施。23地区から回答を得た。年次大会で特に力を入れている点を尋ねる質問には、「会員の交流促進」を最も多い19地区、「地域振興」13地区、「セミナー・講演会の充実」9地区、「アクティビティ」「市民参加」をそれぞれ8地区が挙げた（複数回答）。

地区内の会員が一堂に集う年次大会は、決議機関であると同時に、会員の交流とライオニズムの高揚を図り、明日の奉仕への士気を高める重要な場でもある。とはいえ、会員の減少によって予算が縮小し、大会運営の厳しさが増しているのも事実だ。

「会員の金銭的負担を軽減し、質素な中にも充実した内容の大会とすることに重点を置いた」

「今までのやり方を見直し、予算は質素に、中身の充実を図る大会を企画した。会員が自ら手作りする部分が増えたが、それによっていろいろな経験とノウハウが生まれた」

と、運営の見直しに積極的に取り組んでいる地区がある一方、

「式典の簡素化、改革を推進しようと努力したが、担当部会とのすり合わせの中で難しい部分もあり、結局は従来通りの内容となってしまった」

と悔しさの混じるコメントもあった。

近年増えているのが、年次大会をライオンズクラブの存在をアピールする機会ととらえた、市民参加を促すプログラム。

334・B地区（岐阜・三重）は昨年実施して大盛況となったB級グルメフェアを今年も開き、市民を呼び込んでライオンズの活動のPRを図っている。335・A地区（兵庫東）は恒例だった記念ゴルフ大会を昨年に続き中止し、「地球に愛を子どもに愛を」をテーマに小椋佳ら4組のアーティストが出演する記念チャリティー・コンサートを開催した。大会当日の4月22日は国連の制定したアースデイ。テレビやラジオ、新聞で広く告知して、子どもたちを中心に広く一般市民に参加してもらい、美しい地球を次世代に引き継ごうというメッセージを発信した。更に、会場のポートピアホテル内では大会当日から1週間にわたって東日本大震災報道写真展を開催し、市民に復興支援を呼び掛けた。

330-C地区の大会会場に出店した気仙沼ライオンズクラブ会員による気仙沼ホルモン

震災関連のプログラムを盛り込んだ地区も多い。今後の支援活動に生かそうと被災地の生の声を聞いたり、物産の販売を通じた復興を支援しようという企画だ。

331・A地区（北海道道央）は「震災のいま、これから」と題して記念フォーラムを実施。第1部は地区内4クラブによる震災支援の体験発表。第2部では岩手県・陸前高田ライオンズクラブの会員に被災地の現況を発表してもらい、今後の各クラブの支援に役立てる企画とした。334・E地区（長野）では、震災直後から支援活動に全力を注いできた阿部浩ゾーン・チェアパーソン（宮城県・石巻中央ライオンズクラブ）を講師に「復興に必要なこと」のテーマで、337・A地区（福岡）は「東日本大震災に於ける自衛隊の原発対処」をテーマに、それぞれ講演会を開催した。

330・B地区（神奈川・山梨）は「障がい者福祉・青少年健全育成・親子フェスティバル」と題して山下公園で開催するイベントで、東北の特産品や手作りの品を販売した他、被災地の子どもたちへの寄せ書きコーナーを設け、来場した市民に応援メッセージを寄せてもらった。330・C地区（埼玉）も、式典会場前の公園に岩手、宮城、福島各県の物産を販売するブースを設置。訪れた市民にも、気仙沼ホルモンや浪江焼きそばなど被災地のご当地グルメを味わってもらった。

被災地復興がテーマの年次大会

被災地を抱える地区の年次大会は、当然のことながら震災の影響が色濃く現れたものとなった。332・C地区（宮城）では、「年次大会においても、被災者支援と復興に向けての奉仕活動を推進したい」という中嶋慶次地区ガバナーの考えの下、「復興〜被災地と共

にWe Believe～」をテーマに掲げて開かれた。

３・11から２カ月足らずで迎えた昨年の年次大会は、予定の会場が地震で使えなくなり、中止も止むなしという声があった中、復興の起点となる大会にしようと決行。深刻な被害のただ中にあった沿岸部のクラブからも多くの参加があり、共にこの震災を乗り越えようと決意を新たにした。今年の大会でも、被災した22クラブの登録率は会員の４割と高い。

大会プログラムには「これからの復興のあり方を考える」をテーマにしたシンポジウムが組まれ、被災クラブの中から、気仙沼、南三陸志津川、女川、名取、山元の５クラブの会長または元会長がパネリストとなり、それぞれの被害状況、これまでの支援活動で気付いた点などを発表した。

「皆さんの支援に動かされてクラブが存続出来たことに感謝。復興には現金収入となる仕事を増やすことが急務」（菅原正記会長／気仙沼）、「緊急時にはクラブ内の会議を密に、回数を多く」（井坂剛会長／名取）、「携帯電話の通信が途切れ、無線による連絡網の整備の必要性を感じた」（大内宏之会長／山元）といった意見が出された。

会場の若柳総合体育館の外には、気仙沼や女川など被災地の名物料理や物産を販売する出店が並んだ。大会参加者の他に家族連れなど近隣の町民も訪れて、励ましの言葉を掛けながら買い物をしていく姿が見られた。

更に、大会記念アクティビティも被災地支援に絞った内容となった。被災地の高齢者世帯5千世帯への米支援、石巻市内の二つの医療機関に対する訪問看護、災害救護用車両、患者送迎用車両各1台、車いす30台の寄贈、更に気仙沼市立気仙沼中学校吹奏楽部には楽器一式を贈呈した。式典ではその気仙沼中学校吹奏楽部がオープニング・アクトを担当し、「復興支援年次大会」を盛り上げた。

富山県・高岡ライオンズクラブ

障がいのある子どもたちと共に絆音楽会

高岡ライオンズクラブ（宮重清会長／55人）は認証55周年記念事業として、記念式典に先立ち、4月7日（土）14時～15時にウイングウイング高岡4階ホールにて「絆音楽会～障がいのある子供達と一緒に創る音楽会～」を開催致しました（高田政公記念大会委員長）。

当クラブが30年以上前から毎年、遠足・海水浴・プール・スキー・障害者スポーツなどを通して交流させて頂いている、高岡市きずな子ども発達支援センター、高岡市立こまどり支援学校、富山県立高岡聴覚総合支援学校の児童・生徒・保護者・職員の方々150人と、ライオンズクラブ関係者150人が共に大変楽しく充実した時間を過ごしました。

音楽会の曲目はなじみのある童謡・歌謡曲や日頃各学校で歌っている曲を採用し、演奏を依頼した「バランス」（県内の音楽講師らを中心とした教育機関での演奏経験も豊富なグループ）と共に当クラブのメンバーが各校を

3月21日、こまどり支援学校と高岡聴覚総合支援学校で行われた事前練習。音楽が大好きな子どもたちは、少し緊張しつつも楽しそうに練習に取り組んでいた（写真／明人）

回って、事前練習会を行いました。

音楽会当日、今年度の国際会長テーマにも通じる「Bel·ieve」（杉本竜一作詞・作曲、NHK「生きもの地球紀行」エンディングテーマ）という曲では「I believe in future 信じてる」という部分を会場全体で手話を付けて歌い、最後に「夕日」（葛原しげる作詞・室崎琴月作曲）を全員で合唱しました（葛原氏は広島県福山市神辺町出身、室崎氏は高岡市出身で、それを縁に神辺ライオンズクラブとは姉妹提携を結んでいます）。

音楽を通して、子どもたちに明るく元気に「生きる力」を感じてもらいたいという思いで開催した音楽会でしたが、彼らが純粋無垢に取り組む姿勢や生き生きとした表情から、私たちメンバーが大きな力をもらいました。会員一同、55年の歴史と伝統を守りながらも、時代の要請に応え、地域に必要とされるライオンズクラブの姿を実現するべく努力する決意を新たに致しました。

（幹事／室谷芳隆）

南三陸町の仮設住宅に吹いた沖縄の風

4月21日、南三陸町戸倉の仮設住宅を沖縄のライオンたちが訪問。サーターアンダギーなど沖縄の菓子を届けながら、寸劇を披露したり一緒に琉球民謡を合唱するなどして、被災された方たちと触れ合った。この日は識名安信337・D地区ガバナー（八重山ライオンズクラブ）を始め、同地区沖縄リジョン（屋比久里美リジョン・チェアパーソン）の4クラブ（恩納、北谷、浦添、八重山）から9人の会員が参加。南三陸志津川ライオンズクラブのライオン星喜美男の案内で、戸倉地区の仮設住宅3カ所を回った。

識名ガバナーは昨年6月、南三陸志津川ライオンズクラブの震災後初例会を訪問。ゴングや万国旗など例会の備品すべてが津波で流失したことを知り、その場で備品一式を手配、沖縄リジョンの合同事業として南三陸志津川ライオンズクラブに寄贈した。また、沖縄の恩納村と南三陸町は以前から交流があり、それらの縁も重なって今回の訪問が実現した。

識名ガバナーらが、沖縄の言葉を寸劇形式で披露しつつ一つひとつ解説を入れると、会場には笑いが渦巻き、三線の調べで歌われる「涙そうそう」には目頭を押さえる人の姿も。その様子を見た識名ガバナーは、

「お菓子はクラブ事務局の女性たちや恩納村商工会女性部の皆さんの手作りで、被災地に寄せる沖縄の気持ちが詰まっています。秋には伝統芸能・エイサーを伴って再訪する予定ですが、その後も毎年、もう来なくていいと言われるまで訪問させて頂くつもりです」

と、熱く語り、長いスパンでの交流を約束していた。　（取材／鈴木秀晃）

愛知県・春日井ライオンズクラブ

「大地震は必ず起きる！ その時私たちは」

春日井ライオンズクラブ（戸松精三会長／63人）は3月18日、ホテルプラザ勝川で復興支援シンポジウム「3・11東日本大震災から学ぶ危機管理」を開催し、市民約200人が参加した。

第1部の講演では福和伸夫名古屋大学大学院教授が、一人ひとりの備えと地域における助け合いの重要性を強く訴え、第2部のシンポジウムでは宮城県・南三陸志津川ライオンズクラブから招いた小坂克己会長、佐藤信一幹事、及川善祐元会長、春日井ライオンズクラブのライオン水野隆をパネリストに、災害時に市民がどのように行動するかを考えた。

南三陸町ではライオン及川ら志津川おさかな通り商店街の店主たちが、全国18地域の商店街で作る「全国ぼうさい朝市ネットワーク」の支援を受けて「南三陸町福興市」を開くなど、町の復興を牽引している。このネットワークに参加する勝川駅前商店街の一員で、ライオン及川と10年来の交流があるライオン水野が震災直後から南三陸町支援に動いていたことから、春日井ライオンズクラブは昨年5月に南三陸町の子どもたちへ学用品を送り、8月には戸松会長率いる会員5人が被災地を訪れて南三陸志津川ライオンズクラブの会員と意見交換会を行った。

「お話を聞くうちに、これを教訓として東海・東南海沖地震の危機が迫る自分たちの地域の備えをしなければならないと考え、このシンポジウムを企画しました。災害時、ライオンズは被災者であると同時に救援者にならなければならない。そのための形を作っておくことが次なる目標です」（戸松会長）

シンポジウムはぼうさい朝市ネットワーク発起人の藤村望洋氏がコーディネーターを務め、南三陸町の復興を写真に記録し続けている佐藤幹事が被災時の状況を説明。続いて商店街の連携やライオンズの支援について発表があった。ライオン水野は「いざという時、行政でもライオンズでも縦のネットワークはあまり機能しなかった。機能したのはフラットな横のネットワークです。今後も横のつながりを大切にしながら災害時の備えを考えていきたい」と、平時からの連携の重要性を強調した。

このシンポジウムに先立ち、3月12～16日には春日井市役所ロビーで南三陸町写真展、17日には勝川商店街弘法市で南三陸物産展を開催して、広く市民に被災地の現状への理解と支援を呼び掛けた。

（取材／河村智子）

兵庫県・神戸ノース ライオンズクラブ

中学校吹奏楽部発表会

神戸ノース ライオンズクラブ（22人）は1月28日、神戸市北区にある「すずらんホール」を会場に、「第7回神戸市北区（南地区）中学校吹奏楽部発表会～他の良きを知り・総じて我ら皆なかま」を開催した。

当クラブでは毎年、「年末チャリティーバザー」を行っている。以前はその中のアトラクションの一つとして、南地区の中学8校の持ち回りで吹奏楽の演奏をお願いしていた。何回か続いた時、各校から次のような共通の悩みを聞いた。

コンクール以外には発表の場が少なく、他校の良い校風を学び、演奏を聴き合い参考にする機会もない。それは会場の問題、楽器運搬の費用が高額であるのが大きな要因である、と。

そこでバザーと切り離し単独事業として、演奏の場となる発表会を主催することにしたのである。青少年育成と一般市民との交流の場を設け、また芸術文化の促進という見地から人的・経済的奉仕を行う継続事業となり、今年で7回目を迎えた。

当日、参加・来場者数は延べ750人、吹奏楽部員260人（8校）に上った。ライオンズ・メンバーは会場整理、案内、ライオン・レディーは受付でプログラムと当クラブの紹介、入会勧誘PRチラシを配布した。

更に本年、初めての試みとして、中学校吹奏楽部の演奏をバックに、観客、生徒全員で「また会う日まで」を大合唱し、発表会を締めくくった。

（会長／池本晴好）

千葉県・飯岡ライオンズクラブ

大震災から1年の我が町で

イラスト／篠田和夫

飯岡ライオンズクラブ（齊藤弘昌会長／34人）が活動域とする我が町・旭市飯岡が、あの忌まわしい東日本大震災の津波で大災害を被ってから早1年。この機に旭市でもさまざまな支援、追悼行事が行われた。

3月10日には第9リジョン第3ゾーン主催による、川畠成道氏と東京ニューシティ管弦楽団のバイオリンと管弦楽の被災地支援コンサートが開催され、ライオンズを代表して平野陽一ゾーン・チェアパーソンがあいさつをされた。主演奏者の川畠氏は国際的にも高名なバイオリニストで、旭市民のために心の込もった演奏をしてくださり、会場の聴衆も皆大変喜んでいた。開催に当たっては旭ライオンズクラブのライオン伊藤和則にご尽力頂いた。

翌11日には飯岡ユートピアセンターにおいて、千葉県知事、旭市長、地元選出の議員らが出席した東日本大震災1周年千葉県・旭市合同追悼式が挙行された。市内3クラブ（旭、海上、そして当・飯岡）の会長も招待された。

また同日、今や旭市の被災の象徴ともなってしまった旧食彩の宿・いいおかにて、旧飯岡町仏教会主催の犠牲者の慰霊祭が催された。

その他、この悲惨な状況を後世に伝え、かつ被災者を慰める催しが市内各所で開かれた。

震災から1年を経過した飯岡は、被災跡の大部分が更地のまま、津波の痛々しい傷跡を残している。まだ復旧が進んでいない河川、道路も多く残されているが、一部では新しい防波堤の建設や、崩された離岸堤の修復作業が進みつつあり、復旧の兆しも見える。

4月8日には第3リジョンと当ゾーンとの合同で、旭市中谷里浜で保安林の植樹も行われる。

最後になるが、亡くなられた方のご冥福と共に、被災された方々の一日も早い復興を祈る。また、ブラザー・クラブを始め、ライオンズ関係各位から当クラブに対し多大な支援を頂いたことに改めてお礼申し上げる。

（幹事／向後久雄）

山口県・宇部ライオンズクラブ

「ライオン ZOO」が大賞受賞

12月1日から1月9日、宇部市の「ときわファンタジア」が開催され、イルミネーション部門で、宇部ライオンズクラブ（47人）の作品「ライオン ZOO」が大賞と中国経済産業局長賞を受賞した。

ときわファンタジアは4年前から開催されている市民参加型のイルミネーション・コンテスト。市内の保育園、幼稚園、子ども会、大学、企業、諸団体がそれぞれ工夫を凝らした作品を出展するユニークな催しだ。年々規模が大きくなり、今年度来場者は4万3千人を超え、宇部市の冬の風物詩として定着してきた。

今回は61団体から63作品が出展された。私たちの作品は、満天の星と草原をイメージした濃紺と緑色のLEDの中で、針金の型枠に600個のLEDをまとって輝くライオンを中心に、ゾウ、キリン、ウマ、パンダ、アヒル、ウサギ、イヌ、ペリカン、サルのモニュメントによる動物園。寒い暗闇の中で凛として光を放つ動物たちに、「力強さと優しさ」「強い清潔感と気高さ」「癒やし」を感じるなど、市民を始めテレビ局、地方新聞社、カメラ愛好家にも好評を得た。しかし、小さいお子さんたちが駆け寄り、喜ぶ姿が何と言ってもいちばんだった。

審査では、すべてが手作りであること、和紙を用いた独創性、作品全体の完成度とあふれる「和み」のイメージが評価され、満票での大賞受賞だった。

昨年7月、地域活性化委員会を新設して構想を練り、クラブ全体で取り組んだ。製作期間約5カ月、製作者延べ157人、所要時間856・5時間の当クラブ過去最大のアクティビティだった。費用は材料費のみの約25万円。大変な苦労もあったが、童心に戻って楽しい時間を過ごした。

私たちの作品がファンタジアのレベルアップと宇部の活性化につながることを願う。が、それ以上に市民の中でライオンズがより身近な存在になれたことが大きな成果である。

（会長／藤本定一）

兵庫県・西脇ライオンズクラブ

LCIF交付金で視覚障害者支援事業

西脇ライオンズクラブ（生田弘之会長／58人）は2月7日の第1例会において、点訳用パソコン、点訳専用ソフト、プリンターなどを、社会福祉法人西脇社会福祉協議会所管「西脇点訳友の会」に贈呈した。

西脇点訳友の会は1975年の発足以来37年間にわたり、地域情報や新聞記事、小説等々の点字翻訳を目の不自由な人たちに届けるという重要な活動を続けている。しかし近年は点訳に使うパソコンが老朽化、作業に支障を来していた。

そこで当クラブは本年度初めから、同会を支援することを決め、着々と準備を進めてきた。LCIF交付金を申請することにし、会員にはチャリティー・バザーで商品の拠出をお願いし、その収益金を充てるなど、資金獲得に励んだ。

特にLCIF交付金申請は初めてのことで手探り状態だったが、有野勇335-D地区LCIF開発コーディネーターの協力を得、無事に承認を頂いた。

また、この事業を成功裏に終えることが出来たのは、これまでにLCIF献金をしてくださったすべてのライオンの皆様の高い志のたまものと深く感謝している。

当クラブでは、昨年度はデフピープル助成金による聴覚障害者支援、本年度はLCIF交付金で視覚障害者支援と、2年連続して障害者支援に貢献することが出来た。これは大変意義深いことだと思っている。

（保健奉仕／徳岡武義）

大阪梅田中央ライオンズクラブ

復興への祈り、響け東北の空へ

大阪梅田中央ライオンズクラブ（宮坂龍介会長／23人）はチャーター・ナイト32周年記念事業として、東日本大震災からちょうど1年後の3月11日、大阪市立北区民センターにて復興チャリティー・イベントを開催した。

イベントの第1部では阪神大震災でのボランティア経験を生かし、東日本大震災の被災地でも活動されている、NPO法人よろず相談室の牧秀一理事長が講演。震災から17年経った神戸で起こっている震災後遺症や独居老人の問題をふまえ、人は人によってのみ救うことが出来る、システムだけでは人は救えない、忘れないことが東日本大震災の復興でもいかに大事であるかということを、被災地の写真を交えながら話された。

そして第2部は関西を中心に活躍している、和楽器演奏集団「独楽（こま）」によるコンサート。和太鼓や琴などで、東日本大震災の犠牲者への鎮魂から復興への祈りを熱く演奏された。

またコンサート中、震災が発生した14時46分に、来場者全員で犠牲者への黙祷を捧げた。

イベントの最後には宮坂会長から、遠方から来阪頂いた気仙沼復興協会の熊谷義弘理事長へ、義援金の目録が贈呈され、会場全体の雰囲気が「がんばれ東北」という一体感に包まれた。

この義援金はチケットの売上全額と、当日ご来場頂いた方々からの募金を充当した。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

（PR委員長／益田大志）

静岡県・浜松南ライオンズクラブ

3クラブ合同サッカー大会

浜松南ライオンズクラブ（片渕守会長／50人）はクラブ発足当時から三十余年にわたり、浜松南ライオンズ杯サッカー大会を主催している。また、兄弟クラブの浜松西、浜松東の両クラブもおのおのサッカー大会を開いている。そこで今回初めて当クラブのホストで、開誠館グラウンドにて、それぞれの優勝チーム同士によるフレンドマッチを盛大に開催した。

ややもすると若い会員の中には、形骸化された継続アクティビティのように感じられていたサッカー大会だが、クラブを超えて、またそれぞれの強みを持ち寄り、チャンピオンカップ争奪サッカー大会を開催出来たことは、まさに温故知新と言えよう。リーマンショック以降、企業からの支援も厳しくなる中、地元関係者の要望を受けて実施した同大会は、小学校卒業を間近に控えた選手にとっても、またそれぞれのクラブにとっても、感慨深いものになった。

3月11日の開催ということもあり、開会式は東日本大震災への黙祷で始まり、「被災した子の分まで力いっぱい頑張る！」という力強い選手宣誓がなされた。

浜松地区の少年サッカー・スポーツ少年団は、全国でもトップレベルの実力を誇り、これまでに多くのJリーガーを輩出している。今回も勝者には、地元クラブ・憧れのジュビロ磐田から記念のメダルが贈られた。

また浜松西ライオンズクラブが磯辺巻きやお汁粉などの屋台を出店。3月とはいえまだまだ寒いグラウンドで、勝ったチームも負けたチームもおいしそうにアツアツのお餅を頬張った。代金として、各ライオンからは気前の良いドネーションが続出した。

浜松市は岩手県大船渡市の災害支援をしていることから、売上及びドネーションはサッカーボールに変えて大船渡へ贈られた。浜松のサッカー少年から大船渡のサッカー少年に友好のロングパスが渡った！

（IT・情報PR委員長／加藤幸好）

島根県・松江、兵庫県・宝塚ライオンズクラブ

宝塚×松江ミニバス選抜チーム交流大会

1月9日、念願の「宝塚×松江ミニバス選抜チーム交流大会」が、松江市総合体育館にて盛大に開催された。同大会は、前年度に迎えた松江ライオンズクラブ（足立守／78人）認証55周年の特別事業として、宝塚ライオンズクラブ（大島均／40人）との姉妹提携締結を記念した合同アクティビティだ。当初は昨年3月の開催予定だったが、東日本大震災の発生で延期を余儀なくされていた。

試合前日の8日には交流懇親会を開催、おいしい料理とビンゴゲームで、宝塚・松江両市のミニバス（ミニ・バスケットボール）選手が懇親を深めた。

同大会において我々は、勝ち負けには関係なく、選手の良き思い出としていつまでも心に残るような試合となることを願っていた。実際、選手たちは日頃の練習の成果を存分に発揮し、見事なプレーの連続で、すばらしい交流試合になった。

試合後は昼食をはさみチアリーディング・チーム「アクアマジック」によるダンスとフリースローゲームで一息つき、最後に島根のプロバスケットチーム、島根スサノオマジックの選手によるクリニックを受けた。プロの技に驚きながら、テクニック向上のために真剣に指導を受ける選手たちの姿が印象的だった。選手からは「初めてプロのダンクを生で見た。大きくなったら自分もやってみたい」「これからもバスケを通じて友達を作り、いろいろな経験をしていきたい」などの感想を頂いた。

この交流大会を通じ、両市の絆をより一層深めることが出来たと同時に、「宝塚ライオンズクラブと姉妹提携させて頂いた当クラブは本当に幸せだなぁ……」と改めて感じた。

最後になるが、同大会開催に当たりご尽力頂いた関係皆様に心から感謝申し上げる。

（情報・指導力副委員長／原田瑞樹）

京都洛北ライオンズクラブ

初めての体験「ホテル de お茶会」

京都洛北ライオンズクラブ（藤原守正会長／27人）は、授産施設利用者（身体障がい・知的障がい）の社会参加意欲の向上を支援するため、一昨年から社会福祉法人白百合会の利用者と職員の皆さんをホテルに招待して、「テーブルマナーを勉強する食事会」「フランス料理と弦楽三重奏を愉しむひととき」を開催。継続事業として、普段なかなか体験出来ない機会を提供しようと取り組んでいる。

今年度は2月3日、「ホテル de お茶会」と銘打って、表千家・堀内長生庵行分の千葉宗立先生による立礼点前でのお茶会を開催した。事前に利用者の皆さんの自宅へお茶会への招待状を送付し、同封の返信葉書に自筆で出欠を書いて返信してもらうことにした。

当日はお茶の作法について簡単な説明を受けた後、早速、節分にちなんだ主菓子とお薄の接待を受けた。最初のうち、利用者の皆さんは初めての体験に緊張した様子だったが、次第にくつろいだ表情となり、二服目を所望する姿も見られるようになった。

引き続き別室での食事会では点心を賞味、千葉宗立先生ご家族による「祇園小唄」「源氏物語・あさきゆめみし」の舞踊を観賞、一足早い春の訪れを楽しんでもらった。目を輝かせながら大きな拍手を送る姿が印象的だった。利用者の皆さんとの交流は、我々メンバーにも言葉で表せないくらい深い感動を与えてくれた。

今回は催事に参加するだけでなく、参加までの手続きも学習してもらった。今後も施設利用者の皆さんの自立支援を継続していきたい。

（広報委員長／須野原修二）

宮崎県・延岡五ケ瀬ライオンズクラブ

亡きライオンからのメッセージ

彼、突廻信長は律儀な人であった。

93年、ある生命保険会社の営業所長として当地に赴任、延岡五ケ瀬ライオンズクラブ（織田昌憲会長／53人）に入会する。その後の転勤で一度退会となったが、07年、再度赴任。お誘いしたところ快く再入会頂き、クラブライフを謳歌しているように思われた。

そんな先輩ライオンが第1副会長となり翌年には会長をという時、突然、退会の申し出があった。「自分は退会するので息子を」と敬司君に入会頂いた。

当初、彼は新しい事業を始めており、それで忙しいのであろうと、さほど気に留めずにいた。しかしある時、彼が病気であることを知る。昨年の8～10月頃、入退院を繰り返していたようであった。

そんな矢先、12月上旬、彼の奥様が逝去された。突然の訃報に会員は皆驚いた。更に奥様はその死に際し献眼されたという。

そしてその喪も明けぬ12月下旬、彼もまた帰らぬ人となり、献眼をされた。夫婦そろっての献眼が、私たちクラブ・メンバーに多くの感動を与えたのは、言うまでもない。

私たちは奉仕をする一員として、献眼という奉仕について、亡きライオンから多くのメッセージを贈られたと思っている。退会する際も一言も病気のことは言わず、夫妻に出来る最後の奉仕を身をもって行われたことは、奉仕の原点を見る思いがした。

言葉で言い尽くすことが出来ず故人に申し訳なく思う。改めてご冥福を心よりお祈り申し上げる。

（幹事／岩切武則）

静岡県・清水日本平ライオンズクラブ

カンボジアの小学生が描いた絵画を展示

清水日本平ライオンズクラブ（遠藤勝久会長／38人）は、2010年度に結成25周年を迎えた。この節目に、最もライオニズムに沿った記念事業を実施したいと考え、度重なる議論を経て、世界遺産として名高いアンコールワットから程近いカンボジア・シエムレアプ州に、小学校を建設する計画を立ち上げた。

建設資金はLCIF交付金に加え、街頭募金で延べ3千人もの方々からご支援頂いた他、チャリティー・ゴルフ大会などを開催。これに並行して建設場所の選定、州との調印式、中間検査など現地を何度も訪れて綿密な打ち合わせを重ね、昨年4月に新校舎の落成にこぎ付けた。

完成を記念して現地で贈呈式が挙行され、当クラブからは会長以下メンバー18人、またシエムレアプ州副知事、教育長、地元村長等、更に村民500人もが参加。村を挙げての盛大なセレモニーは華やかな中にも心温まるものとなった。内戦で荒廃したカンボジアの未来を担う子どもたちのために小学校を建設したいとの一念から始めたが、予備知識も乏しく試行錯誤の連続で苦労も多かったことから、贈呈式で子どもたちの歓喜の眼差しと満面の笑顔に触れ、万感胸に迫るものがあった。

これからも更なるアクティビティとして継続することが大切であると考え、静岡市清水区内の小学校と協同して小学生が描いた絵画を送ったところ、先方からものどかなカンボジアの風景や、日常生活をおおらかな心で描いた300枚もの絵が届いた。そこで2月13～17日、静岡市役所清水庁舎ロビーで展示。地元紙に掲載されて反響を呼び、多くの市民が鑑賞してくれた。

この絵画を描いた子どもたちが健やかに成長し、カンボジアの将来を担って平和の礎となってくれるよう、更に支援の輪を広げ親密な交流を続けていきたい。

（実行委員長／原川章）

兵庫県・宝塚ニューセンチュリー ライオンズクラブ

薬物乱用防止教室

宝塚ニューセンチュリー ライオンズクラブ（水倉弘貴会長／26人）が薬物乱用防止教室に取り組み始めて3年目。初年度は神戸のじぎくライオンズクラブが実施した教室を見学し、パワーポイントの資料を頂いたりと大変お世話になった。

2月3日には宝塚市立光明小学校で6年生34人全員を対象に、昨年度に引き続き2回目の教室を開催した。更に、今後毎年開催させて頂けるという、うれしいお話を頂いた。

光明小学校に初めて行った時にまずびっくりしたのは、授業の開始や終了を告げるチャイムが鳴らないということ。生徒の自主性を重んじ、進んで行動が出来る子どもになってほしいという学校方針だそうだ。そして子どもたちの気持ちの良いあいさつと下駄箱にピシッとそろえられた靴。そんな子どもなので授業も積極的だ。最後の質問時間には質問が飛び交う。

当日は薬物乱用防止教室のために約40分間の時間を頂き、私が講師となって講義を行った。講義内容としては、学校の要望であるタバコの話をパワーポイントを使用して行い、次に薬物乱用防止の話。その間には子どもたちの集中力が切れるであろうことを予測して、先生にご協力頂き、誘い方の実演をしている。

また、教室を始めて以来の取り組みとして、参加した生徒たちに感想文を書いてもらっている。その1枚1枚に、クラブ・メンバーが赤ペン先生のようにコメントをつけてお返ししている。想定していないような質問が書いてあったりして、こちらが勉強になることも少なくない。

この教室を通じて子どもたちが薬物の恐ろしさを知り、更に家で家族とタバコや薬物乱用について話す機会を持ってもらえたらという気持ちを込めて、メンバー一同感想文にコメントしている。

（前会長／光本庸佑）

長野県・丸子ライオンズクラブ

高校で薬物乱用防止講演会開催

丸子ライオンズクラブ（竜野信雄会長／42人）は1月19日、長野県立丸子修学館高校の3年生を対象に、薬物乱用防止講演会を開催した。高校卒業間近のこの時期、進路が決まった気の緩みなどに付け込まれ、麻薬など禁止薬物の使用に引き込まれる危険があるため、授業時間を使って行っている。

3回目となる今年は251人の生徒が受講した。初めに竜野会長から当クラブの活動について紹介。その後「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」DVDを上映し、薬物乱用防止認定講師のライオン久保山修が「未来に向かって」と題して講演した。

密売者から「やせられる」「疲れがとれる」「気分がすっきりする」などと誘惑されてもだまされないための注意点を説明。1回だけならと使用することが一生を台無しにする、薬物で脳が破壊されると医学の力でも治らない、最近問題の合法ハーブもいぶせば違法、今は親や学校に守られているが卒業後は自己責任、自分で正しい判断をしないといけない、と絶対に薬物に手を出さないよう訴えた。

質疑応答では「薬物中毒患者はどのくらい居るのか」「誘われた時どう対処すれば良いか」といった質問が出された。最後に生徒を代表して竹花潤一郎前生徒会長が「知っているつもりだったが、詳しく分かって勉強になった。薬物には絶対に手を出さない」と誓いを述べた。

当クラブは長野県東信地区の薬物乱用対策推進協議会研修会に出席し、講演も行っている。今後も地域での薬物乱用防止活動を積極的に行っていく予定だ。

（PR委員会）

茨城県・日立ブーケ ライオンズクラブ

被災児支援のためのチャリティー・コンサート

日立ブーケ ライオンズクラブ（23人）は12月4日、日立・ゆうゆう十王ホールにて、「第7回チャリティー・コンサート」を主催した。

3月11日の東日本大震災、この未曾有の大震災は、穏やかな日常、温かな生活を一瞬にして奪っていった。332複合地区では、この突然の不幸に見舞われ親を亡くした子どもたちのために「ライオンズ震災遺児奨学会委員会」が設立され、彼らが健やかに成長し健全な社会人となるための援助をされるという。それを聞いた瞬間、私たちはここへの支援をチャリティー・コンサートの目的とし、成功へ向けて一致団結してまい進した。

当日はぜひ多くの方に見てほしいと、「東日本大震災」のDVDを冒頭に放映した。コンサートに先駆けた10月5日に私たちが被災地の仙台、石巻、女川に赴いた際、先方のライオンの方から託されたものだ。会場ロビーには訪問時の写真を展示した。来場された方々はその映像と写真を見て、今回のチャリティー・コンサートの目的に共感し、一層理解を深めてくれた。

「愛・絆・希望　子どもたちの明日へ」のタイトルの下、コンサート第1部「雅な愛のステージ・絶妙なハーモニーの絆のステージ」は声楽アンサンブルとマリンバ&ギターの演奏、第2部「元気な希望のステージ」ではビッグバンドの演奏という構成にした。

震災は当クラブの活動域である日立市、高萩市、北茨城市を中心とした県北地域にも被害を及ぼした。それ故に「私たちに出来ること」という課題に真摯に向き合ってきた。そうした中、多くの方々の協力の下、大勢のお客様と思いを共有しコンサートは成功裏に終了。収益金をライオンズ震災遺児奨学会委員会に寄付することが出来た。

〜私たちの想いの先は、子どもたちの笑顔に満ちた未来へと繋がることを信じて〜

（会長／皆川展枝）

新潟ライオンズクラブ

享年106。ライオン浅川をしのぶ

去る11月6日、新潟ライオンズクラブ（40人）のチャーター・メンバーであるライオン浅川晟一が106歳で逝去された。当クラブは1956年に岡山ライオンズクラブのスポンサーで、我が国26番目のクラブとして発足。発会式の写真には世話人や国際協会特別代表のライオンジョージ・パレネンゴアと共に若き日の姿を残している。当時いちばんの若手であったライオン浅川は、人間的な修練においても先輩諸氏から大いに薫陶を受けたと語っていた。ご自身も実に謙虚な人柄で、会員からの敬愛を集め、まさにライオンと呼ばるるにふさわしい方だった。3年程前までは元気に例会に出席され、その長寿や人柄にあやかろうと会員が競って求めた握手に、笑顔で応えておられた姿が忘れられない。

この度クラブでは、ライオン浅川が結成30周年記念の卓話で語られた下記の言葉を記念プレートに刻み、ご遺族に贈呈した。またこれをもう1枚作成、当クラブにおける判断のよりどころとして、事務局に掲げている。

「私は常に思うのであるが、人間の心の中には神性と獣性が入り混じって存在する。すなわち、神性とは神のような心、獣性とは獣のような心。ライオンズクラブに所属することによって、少しずつでも神性を引き出し団結すれば、大きな奉仕の仕事が出来る。泥沼の中に咲いた蓮の花を見て感心する。どうして、泥沼の中にこんなに美しい花が咲くのであろう。それにもまして蓮の花の上に雨水がたまると、団結して玉をなす。その玉に太陽の光があたると、なんとダイヤモンドの輝きをする。これこそライオンズクラブの姿ではないだろうか」

（会長／上原隆一）

いざ!! 復興
ライオンズは応援します

WISDOM EFFORT ～知恵と努力～
333複合地区

333複合地区
ガバナー協議会議長　萩原　光義
事務局管理委員長　中根　重喜
事務局管理委員　藤森　篤

333-A地区
地区ガバナー　井口　昭夫
キャビネット幹事　高橋　喜市
キャビネット会計　今井　雅裕

333-B地区
地区ガバナー　星　宏信
キャビネット幹事　内山　孝
キャビネット会計　菅谷　文利

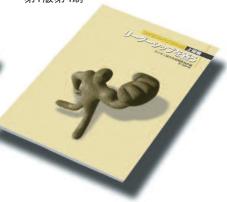
333-C地区
地区ガバナー　金井　一夫
キャビネット幹事　大西　智子
キャビネット会計　桑原　賢治

333-D地区
地区ガバナー　小板橋欽也
キャビネット幹事　田中　勝司
キャビネット会計　市川　克美

333-E地区
地区ガバナー　平田　石根
キャビネット幹事　成田　稔
キャビネット会計　橋本信一郎

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門
第3版第3刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識
第3版第2刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う
第1版第4刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部
●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領→54ページ

ライオンズは生涯学習の場

杉山　修（京都堀川）

(1)「天寿」について

年齢80歳近くになったせいか、毎日の新聞に掲載される死亡広告が気になるようになった。それは、亡くなった人が、もしかしたら自分の知り合いではないか、ということと、もう一つ、人の寿命が気になり始めたからである。

最近、その死亡広告に、「57歳の天寿を全うし、安らかに永遠の眠りにつきました……」との文章が載っていた。

私の所属するクラブでこのことが話題になり、ある者は、あれは完全に年齢のミスプリントのはずだと言い、ほとんどの者がそれに同意した。しかし、メンバーの一人である寺院の住職をしている会員が、「あれはミスプリントでもなんでもない。天寿とは、その人の生涯のことを言うのであって、たとえ50代であっても、その人の生涯が一生懸命に生きてきた結果、その人にとって満足いくものであったならば、まさしくそれは天寿を全うした、と言っていいのであり、あれを掲載した遺族の方は、そのことを意識して掲載したはずだ」と、教えてくれた。一同感銘した次第であった。

(2)「御清聴」について

つい最近、ある会合で元ＮＨＫ解説委員「高島肇久」氏の講演を聴いた。

講演内容は「メディア」論であったが、ビデオの最後の画面に「御清聴ありがとうございました。」と記載されていたので、私は、「御セイ聴」のセイは「御静聴」ではないかと思い、ちょうど隣にいた某新聞社の局長に尋ねたところ、局長は早速、ケータイ辞書で調べてくれた。その結果、講演の最初にお願いする時は「御静聴」が正しく、最後にお礼を言うのは「御清聴」が正しいとのことであった。

私はそれを知らず、直接高島氏に間違いではないかと尋ねようとしたことを反省すると同時に、さすがＮＨＫの大物だと、その博識ぶりに改めて敬意を表した次第であった。

(3)「絆」について

ある府議会議員に乞われて、その議員の後援会長を引き受けている。新年会のあいさつで、昨年の世相の一文字「絆」について触れようと思い、新村出博士の『広辞苑』で「絆」を引いたところ、「キヅナ」にはもう一文字「紲」という字があることを発見し、早速あいさつに、昨年の世相を表す「キヅナ」は「絆」より「紲」の方が妥当ではなかったかと述べた。

クラブの会合でそんなことを話したところ、それを聞いたある会員が更に詳しく調べ、その結果を教えてくれた。なんと「キヅナ」の一字は他に11字もあるということであった。参考に列挙する。

「鞅」「靬」「紲」「韁」「縻」「緤」「羈」「絡」「縶」「繋」「鞿」
　なお疑問に思っていた、清水寺貫主森清範氏が、テレビの前で揮毫した時の「絆」の字の筆順、「半」について「ハ」「一」「二」も、それが本当に正しい筆順だとも教えてくれた。
　我以外皆我が師。生涯勉強中である。

人もクラブも温かい

秋田千鶴（島根県・益田あけぼの）

「こんにちは。キャビネット幹事の秋田です。実は貴クラブを例会訪問したいと思いますが、よろしいでしょうか？」
「来られるのは一向に構いませんが、次は奉仕例会で、雪かきですし……。しかも朝5時からですよ‼」
　佐田ライオンズクラブに連絡を入れたところ、そんな返事を頂きました。
　益田市から出雲市佐田町までは約140キロ。車で3時間ほどかかります。例会時間までに到着するためには、朝2時に益田を出発しなければなりません。が、前々から大羽義定ガバナーに、このクラブについては、ぜひ例会訪問をさせてくださいと、お願いをしていましたので、意を決して行くことにしました。
　実は佐田ライオンズクラブでは、初めてのYE派遣生を、この冬に送り出すことになっていたのです。受け入れの経験はあるものの、派遣は初めてだけに不安材料が山ほどあるとのこと。また、オンライン報告システム「サバンナ」の使い方も、もしかしたら十分ではないのでは？との思いもあり、事務局の中島君を同行することになりました。更に、お隣の多伎ライオンズクラブの会長さんたちが、応援指導に駆け付けてくださるとの心強い話もあり、だいぶ気が楽になりました。そんな折、今度はあちらから電話を頂きました。
「もしもし、あのー、佐田ライオンズクラブが始まって以来、初めてキャビネットの幹事さんが例会に来られるので、申し訳ありませんが、例会を夕方の5時に変えましたのでよろしく」
「申し訳ありませんネ」
「それと、夜帰られますか？　もしよければ、我が家に泊まられませんか」
「ハア〜、私ですか？」
「そりゃ、佐田まで来てもらって、そのまま帰すわけにはいかんでしょうが」
　私は思わず胸の奥から込み上げてくるものを抑えることが出来ませんでした。
「いや〜、涙が出ますわ〜、うれしくて。誰が私のようなものを、泊めてくださるなんて……」
　その結果、2月1日に中島君と一緒に、長靴、手袋に目出し帽、更にはモンペと完全武装で佐田へ出発。
　向こうでは、クラブ会長さんを始め多くの皆様が「ようこそ山の中へ」と出迎えてくださいました。
　毎年、須佐神社（出雲神話で有名な）の節分祭に来てくださる皆様（2千人位）の足元が、圧雪により大変危険なので、安心して来て頂きたいと、境内の雪かきと清掃をされているそうです。
「今日は幹事さんが来られたので、出席率が良いですワ。100％かね。ハハァ」
と、皆さん早朝から元気に労力奉仕。
　清掃後は、「須佐神社のパワースポットに案内しますから」と、樹齢1200年と言われる大杉を見せて頂きました。私たちは、目の前の大杉にビックリ‼　何かすごいパワーを頂いた気がしました。

更に、冷えた身体を温めてください、と温泉まで用意して頂き、その思いやりに感動しきりの2人でした。

夕食の前には無事、多伎ライオンズクラブの会長さんを交え、事務担当の方々とYE派遣について話し合い、訪問の目的を果たすことが出来ました。

ところが、ここからがすごかったのです。「お腹が空いていると思いますが、その前に、佐田には佐田のもてなしがあります」との口上。すると、いきなり襖が開き、「チャラン・チャラン・チャランチャンチャン！」と、安来節に、どじょう掬い……。私たち二人は「ヒエ～」と言葉もなく、ただただ驚き。そしてまた涙がポロポロ、と。ここの人々は、どこまで人情があるのかと思ったら、涙が止まりませんでした。

イラスト／小川和政

◆

3月に入り「3名の入会式をします」との案内を頂きました。同行した中島君には、週に何度か「中島君いますか。またパソコンのやり方を教えて」と電話が入り、今ではクラブ事務局の清水さんに可愛がってもらっています。

私も日本初の女性キャビネット幹事と言われ、周りの方は期待半分、不安半分に見ていたのではないかと思います。私自身、自分に何が出来るのか分からずに突っ走ってきた感があります。そして今、「幹事が来られるのは、何か叱られる気がするのですが……」などと言われながら、あちこちのクラブ例会を訪問させて頂いています。

ガバナーにお願いをして開設して頂いている336・D地区ホームページの「キャビネット幹事のひとりごと」も、この頃は仙台、栃木、札幌、熊本と、多くの方々に見て頂いているようで、これもまた感謝です。

◆

2月2日、佐田を出る朝は大雪でした。きっと佐田ライオンズクラブの方はもう一度雪かきをされたのでしょうね。お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

またいつか……。

アイバンク愛の光基金管理会30周年に寄せて

奥村 啓二（京都淀）

3月27日、アイバンク愛の光基金管理会の設立30周年記念式典が、リーガロイヤルホテル京都を会場に山田啓二京都府知事、門川大作京都市長を来賓に迎え、足達靖彦335・C地区ガバナーを始め地区内から多数のライオンズ会員の臨席を得て執り行われました。

アイバンク愛の光管理会は、目の不自由な方々に愛の光を届けたいという当地区の先覚者たちの努力によって発足し、京都府、滋賀県、奈良県にある四つのアイバンクを支援することを目的に、1982年に公益信託「アイバンク愛の光基金」を設立させました。

毎年、基金が設立された3月27日に高台寺境内にある献眼碑の前で「愛の光　感謝の集い」を開き、人生の最後に果たされた尊い奉仕に対して感謝と哀悼の祈りを捧げます。今年も記念式典に先立ち、昨年献眼された41人の皆さんのご芳名を碑に収めて、ご遺族とライオンズ始め関係者一人ひとりが白菊の花を手向けました。

「美しい花が見たい、青い海が見たい、緑の山が見たい、そして、お母さんの顔が見

たい」

目に障害を持つ9歳の少女の詩に込められた切なる願いに応えようと、管理会は各アイバンクへの資金的な援助の他に啓発活動にも力を入れています。シンポジウムや一般市民に理解を広めるキャンペーンのパレードを行ったり、地区内クラブに講師を派遣してアイバンク例会を開催するなどさまざまな活動に取り組んでおります。またアイバンク・サポーターの育成にも力を入れており、これまでに認定を受けたサポーターは述べ400人を超えました。

30年間にわたるこれらの活動が認められて、昨年は日本で最初に角膜移植手術を実施された故今泉亀撤先生の貢献を顕彰して設けられた「今泉賞」を受賞しました。関係者一同、この30周年記念式典を大きな喜びと共に迎え、これを機に献眼運動の更なる広がりに力を尽くそうと決意を新たにしております。

現在、四つのアイバンクで角膜移植を待ち望んでいる方々は182人おられますが、残念なことに年間の登録者数は減少を続けており、また実際に献眼される方は登録者の10％ほどにとどまっているのが現状です。ライオン誌2月号の「獅子吼」欄では、識名安信337‐D地区ガバナーが、「角膜移植を待ち望んでいる方に1日でも早く光を」との原稿で、国内で移植された角膜の40％が輸入に頼っているという状況に警鐘を鳴らしておられました。

国内の難視者のための角膜は、国内で提供しなければなりません。日本は資源の少ない国ですが、角膜については人々の理解と協力さえあれば、資源は豊富にあるのです。

私は常に、眼球提供者カードと臓器移植意思表示カードを財布に入れて携帯しています。もしもの時には、生きる望みを移植に託しておられる方々のために私の身体を役立てて頂く覚悟です。我々ライオンズがリーダーシップを発揮して献眼登録の推進を図り、一つでも多くの愛の光を灯していきたいものです。

（アイバンク愛の光基金管理会30周年実行委員長）

ライオン麦倉義雄100歳おめでとう

木村　義次（徳島西）

とにかくすばらしい快挙！

「100歳！　100歳！」

「とうとうやった！　やるう！」

の声が例会場にあふれる。

ライオン麦倉のお話を聞いていると、その中身は「運の強い方だなぁ」の一語に尽きる。

幼年期から成人期にかけて、何度か死に直面する場面に遭いながら、これを見事にクリアし、九死に一生を得て、今日があると断言出来る。

「赤城山での遭難」「渡良瀬川での水難事故」「十二指腸炎の発病」

どれをとっても、ライオン麦倉にとっては生死をかけた大事件であった。

そして、非常に好奇心旺盛な方で、世界各大陸や観光地を68回も訪ねている。青年時代、中国で貿易会社の社員として大勢の外国人に接したことで、物怖じしない性格が培われたのではあるまいか。

平成8（1996）年3月、徳島西ライオンズの役員会の席上、私は中国での沙漠植林事業を提案した。

きっかけとなったのは、中国残留孤児で徳島市出身の烏雲先生が、中国への報恩感謝のため沙漠に植林しているという話を聞いたことからだった。その烏雲先生は、日

本の支援を要請しているという。
　そこで私は、
「ライオンズクラブでは地球温暖化防止や公害の発生をなくそうと環境問題に取り組んでいる。ぜひ徳島出身の烏雲先生の思いに応え、みなさん一緒に植林しようではありませんか」
と呼び掛けたのだ。
　この時、ライオン麦倉は84歳。が、「私が行く」とイの一番に手を挙げてくださった。これが呼び水となり、結局5人の会員が1番隊として、内モンゴルの植林に参加することになった。
　現地で植林をした隊員たちは、烏雲先生の心中を思い、涙を流しながら木の生育を祈った。その後、運動は日本各地に広まり、延べ６３７人の有識者が訪蒙。1千ヘクタールに３００万本のポプラ、ナラ等を植栽した。
　現在、後継者の方々が毎年渡蒙して植林事業を継続、現地の方たちも感謝の意を表すだけでなく、自らも植林に精を出すことになった。
　ライオンズクラブの歴史にも残るこの大事業に、ライオン麦倉はその後も毎年参加。90歳を超えてもなお、生き物の姿も見えず、筆舌に尽くしがたい荒れたモンゴルの沙漠に立ち、植林に励む勇気に双手を挙げて拍手を送りたい。
　振り返ってみると、当クラブの役員会の席上におけるライオン麦倉の挙手がなかったら、沙漠植林の催行も危うかったし、日本各地の有識の士の勇気を奮い立たすこともなかっただろう。
　さて、長い１００年の間に、ライオン麦倉にも悲しいことがあった。「いちばん悲しかったのは母の死です」と述懐される。
　7人兄弟姉妹の真ん中に生まれた彼を、お母さんは強運の子として各面にわたり保育し指導された。
　群馬県桐生市という絹織物の産地で、銘仙の織物の生産と地主の家で、お母さんは大変な毎日の明け暮れだったことだろう。その多忙な毎日を過ごしながら、子育てする母親の姿に感激。お母さんの強靭な精神力が、ライオン麦倉の強運の原点になっていると私は断言したい。
　今後も健康に留意されて、１０５歳を目標に、私たちのお手本として元気にいきいきと長生きしてくださることが「みんなの願い」である。
　ライオン麦倉義雄のご家族の方々にも高い敬意と称賛を捧げます。
　本当におめでとうございます。

おすすめの ippin

新潟県南魚沼市

しんこ餅

「しんこ餅」というと、京都や関西の「しんこ」、関東の「すあま」など、上新粉で作った菓子の総称である。が、南魚沼市の浦佐には、その名もずばり「しんこ餅」という菓子がある。

もともとは、国指定無形民俗文化財である浦佐毘沙門堂「裸押合大祭」が行われる3月3日にだけ作られていた。上新粉は、うるち米を乾燥させて粉にしたもので、すぐに硬くなり日持ちしない。そこで、粉の配合を変えるなど試行錯誤を繰り返し、ようやく昔ながらの製法をベースにしながら、風味を損なうことなく柔らかさを保つことが出来るようになったという。中の餡もさらっとした食感で甘さ控えめ。今では浦佐名物の土産として、大人気となっている。

取材のため製造元を訪ねた初日は早くに売り切れたらしく、営業時間内だというのに、既に店は閉まっていた。上越新幹線浦佐駅の売店にも置いてあるが、こちらも早めに行かないと売り切れ必至である。

●「東家製菓舗」南魚沼市浦佐4383-10

ふるさと探訪

鳥取県境港市　文／砂山幹博　写真／田中勝明

活気に満ちた岸壁を紅一色に染め上げる深海の美味

日本の約7割のベニガニが水揚げされる境港

カニかごを作る工場で。網を張った状態で赤い部分から入るとかごの外に出られない作りになっている

水揚げ量日本一、境港の赤い華

寒さが増す晩秋から冬にかけて、日本屈指の漁獲量を誇る境港は日に日に活気が増していく。主役は山陰を代表する味覚のカニ。

11月初旬には「カニの王様」の呼び声が高い松葉ガニ漁が解禁となるのだ。この時期、待ちに待ったとばかりに上品で繊細な松葉ガニの味を求めて境港を訪れる人が後を絶たない。最近ではインターネットでも簡単に購入出来るようになり、ブランドガニとしてその名は一気に全国に広まった。

そんな松葉ガニの陰に隠れて知名度はさほど高くはないが、境港にはもう一つ誇るべきカニがいる。ベニズワイガニ、通称ベニガニだ。

その名の通り、表も裏も鮮やかな紅色をしたカニだ。日本海全域と東北地方の太平洋岸から犬吠埼（千葉県）の沖合にかけて分布する日本固有種で、国内の67％が境港で水揚げされ、その量は日本一である。多くは棒肉やフレークなど加工用として流通し、ちらし寿司やカニグラタン、カニクリームコロッケなどの原料に利用される。

ベニガニの見た目が、ゆでて赤く色づいた松葉ガニとそっくりなのは、近縁種であるため。とは言っても生きている松葉ガニの甲羅は茶褐色で、裏側は生でもゆでても白いことから、見た目の区別は容易だ。ちなみに福井の越前ガニ、京都の間人（たいざ）ガニ、そして松葉ガニは名前こそ違うが、実はみな同じズワイガニである。

棲息する場所は松葉ガニとベニガニでは全く異なる。松葉ガニが暖流と寒流が交わる隠岐島周辺の水深200〜400メートルの海域に棲息するのに対し、ベニガニは800〜1200メートルの深海。主な漁場は領有権をめぐって緊張状態が続く竹島周辺や、日本海のほぼ中央

朝の5時から水揚げされ、7時には競りが始まる。競り落とされたベニガニの多くはすぐに加工場に運ばれボイルされる

だ。いちばん遠い漁場は港から36時間もかかる。

江戸時代から漁が行われていた松葉ガニと違い、ベニガニ漁の歴史は浅い。乱獲で減少の著しい松葉ガニに代わる資源として漁獲されるようになってからまだ40年ほどしか経っていない。松葉ガニを取っていたこの辺の漁師は、更に深い所に違う種類のカニがいることは知っていたが、長らく漁法が分からなかった。同じ日本海に面し、眼前に日本三大深湾の一つに数えられる湾を抱える富山では、ベニガニの漁法が早くに確立されており、ここの漁師を呼び寄せたことから境港のベニガニ漁が始まったと言われている。

資源保護に配慮した漁獲法

松葉ガニの漁期が11月上旬～3月中旬と短いのに対し、ベニガニの漁期は9～6月で、2カ月間の禁漁期があるのみ。それだけに水産資源の保護には熱心だ。資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいる漁業を認証する制度として2007年12月に発足したマリンエコラベルを、境港のベニガニ漁が日本で最初に取得している。認証を受けて今年で3年目。年間の水揚げ量の上限を9243トンと定め、これを超えないように漁獲量の調整を行っている他、メスガニの漁獲を禁止している他、

観光バスが立ち寄る大きな市場では、色鮮やかなゆでたベニガニを購入出来る

漁具にも工夫が施されている。

ベニガニ漁は、カニかご漁法で行われる。下部の直径が130センチ、上部の直径と高さがそれぞれ80センチという鉄製のかご枠に編み目1センチの網を張り、上部に直径40センチの入り口がセットされる。かごは、カニが一度入ったら出られない仕組みになっている。が、資源保護のため、甲羅幅9センチ未満のカニが逃げられるよう、編み目が15センチに設定されている他、小型ガニの脱出口が3カ所設けられている。

かごの中にはベニガニの好物のサバが5～6匹吊るされ、かごが海底に着地すると、光の届かない闇の中、においを感知してモゾモゾとベニガニが集まってくるのだ。かごは、直径29ミリのロープに50メートル間隔で150個ほど取り付けられるため、1本のロープの長さは10キロメートルにもなる。

一度セットしたかごにカニが入るまで、海上で約2昼夜待つ。取れたカニは船の上で大中小に選別され、コンテナに詰められて船倉で氷蔵された状態で港に運ばれる。出航してから港に戻るまでの1航海に要する日数は約1週間。現在、ベニガニ漁を許可されている11艘の船が、ほぼ毎日港に入るサイクルで操業を続けている。

当地でしか味わえない幻の味

水揚げが始まるのは午前5時。専用の岸壁に接岸した船から次々とコンテナが運び出される。一つのコンテナには30キロ分のカニが入っている。小さいもので80～100、中で60、大で40杯ほどが詰められている。鮮度が落ちるのを防ぐため、コンテナの上には大量の氷が置かれる。

水揚げされる約95%は身入りの悪いBランクのカニだ。これらは7時に行われる競りの後、間髪置かずに加工場に運ばれる。加工場では甲羅を外してカニ味噌を抜き出し、丸ごとゆでて加工用肉にする。残り5%は上物のAランクとし

鮮度落ちが早いため、ベニガニの生は滅多にお目にかかれない

て生で流通する。ただし、地元の人でも生の状態で入手することは滅多にない。そもそもベニガニ料理を食べさせる店も市内に数えるほどしかなく、食材として売っている店もほとんどない。地元の人に聞くと十中八九「買って食べるものではなく、たまにもらって食べるもの」と答える。

ベニガニは、仲卸がコンテナ単位で購入する大ロットの取引がメーン。観光客がバスで訪れるような小売店ならともかく、町の魚屋ではその量には手を出しにくい。地元の人でも何かの機会に漁業関係者経由で手に入るだけ、というのもこうした理由による。

そんなジレンマを打破し、ベニガニを庶民の味方にすべく売り出そうとしているグループがある。市内飲食店や市役所職員ら17人で組織される境港ベニガニ有志の会だ。「加工用で安い分、質が落ちる」という先入観を払拭するのが会のミッション。実演販売や料理教室の開催などで知名度アップに力を入れる。会のメンバーであるライオン濱野政和は、ベニガニの優れた点について次のように話す。

「松葉ガニはどちらかというと身入りがよく上品な味。一方、ベニガニは身質が繊細でみずみずしい上、甘みが強いのが大きな特長。カニ味噌も松葉ガニよりも濃厚なので、味で松葉ガニに負けてはいません。そして何と言ってもリーズナブル。大きさにもよりますが、松葉ガニとは値段で3～5倍の開きがあります」

ボイルはボイルとして食べるしかないが、生だと、刺身に焼きガニ、揚げガニ、鍋とメニューも広がる。最も甘みを感じられるのが、半生状態の焼きガニと、鍋にサッと通す食べ方。どちらも甘みが更に引き立つという。同会では昨年、カニを1匹まるごと寿司飯の上に乗せ、紙の袋に包んで蒸した「境港新かにめし」なるご当地グルメを開発。現在市内6店舗で展開中だ。

いずれにしても本当においしいベニガニを味わうには、境港を訪れるしかないことは確かなようである。

腹部が白いのが松葉ガニ（上）。腹まで真っ赤なベニガニ（下）。松葉とベニのDNAを受け継ぐ「黄金ガニ」（中）という交配種も存在する。一度の航海で取れる確率はわずか4万分の1程度という希少種

郷土自慢・クラブ自慢

境港ライオンズクラブのクラブ自慢は、妖怪たちのオブジェが楽しい「水木しげるロード」。漁業に支えられ商店街を発展させてきた境港市だが、大型小売店の進出や消費者ニーズの多様化、商店主の高齢化などが原因で、昭和40～50年をピークに商店街の売上げが減少。店舗の閉店が相次ぐなど商業機能の空洞化が起きていた。このような中、1989年に各界の著名人の提言がきっかけで、地元出身の漫画家水木しげる氏の代表作『ゲゲゲの鬼太郎』などに登場する妖怪をモチーフとしたオブジェを商店街歩道に設置する「水木しげるロード」構想がまとまった。93年に23体の銅像を設置して始まった当初は地域住民を商店街へ誘い込む事業のつもりであったが、いざふたを開けてみると、そのユニークさからマスコミに取り上げられ、結果多くの観光客が訪れる県内有数の観光スポットとなった。現在はJR境港駅から本町アーケードまでの全長約800メートルの間に、139体の妖怪オブジェが設置され、観光客の目を楽しませている。

▼境港ライオンズクラブ（山本博敏会長／52人）＝1959年9月16日結成／スポンサー：米子ライオンズクラブ

▼毎年11月に開催する「境みなと寄席」は、昨年で16回目を数える恒例のアクティビティ。なかなか生で見る機会の少ない、テレビでおなじみの落語家や漫才師らによる本物の芸を約1千人の市民に楽しんでもらっている。収益金は学校に寄付され、青少年育成に役立てられている。

読者から―4月号

■共に歩む復興の道のり

東日本大震災からの復興に関する記事はいつも興味深く読ませて頂いておりますが、当地は被災地とは遠く離れていることもあり、関心はそう高くはなかったと思います。しかし、ここへきて被災地のライオンとチャーター・ナイトなどで接する機会があり、お話を伺って復興への道のりはまだまだ遠いことを実感しました。当地区内のクラブでも、被災地支援のためにツアーを組んだり、資金的援助以上の支援をしたいとの声が上がっています。ライオン誌に取り上げられている支援を参考にしたいです。

大阪住之江ライオンズクラブ●川野浩史

■震災とLCIFの意義

東日本大震災復興支援対策本部だより（「国際理事だより」）を読んで、ライオンズクラブの組織の力を再認識することが出来ました。LCIFの意義をライオンズクラブ会員が一人ひとり考え、全世界の会員がLCIFを支え合う心を持つことがライオンズ活動の柱であろうと考えます。

富山県・高岡志貴野ライオンズクラブ●燕昇司信夫

■大変革で現状打破を

「獅子吼」に「愛するライオンズを憂慮する」の原稿を投稿されたライオン鳥谷哲弘に敬意を表します。この原稿はまさに現代のライオンズクラブを象徴していると思います。私が所属するクラブも設立時には64人の会員を有したと聞いております。現在では16人です。16人のメンバーで何が出来るでしょうか？ 日本全国の大多数のクラブでは高齢化に伴い、会員数が日々減少しています。これを打開するには、クラブはもとよりゾーン・チェアパーソン、地区ガバナー、複合地区議長等がこの問題を第1の課題として取り上げ、率先して大改革を行うべきではないかと思います。

埼玉県・浦和ライオンズクラブ●吉田博晃

■若い力に期待

「ピックアップ」のクラブ支部に関しては、337-A地区ではなじみがありませんが、世代間の問題や、クラブに特性を持たせる意味においても、推進していくべきものだと思います。若手のクラブ支部と親クラブとの合併については疑問を感じましたが、若い支部メンバーの皆さんには新しい発想でライオンズクラブを盛り上げてもらいたいです。また、「クローズアップU50」の若きキャビネット幹事にはエールを送りたいです。任命された地区ガバナーや、それを支えている周囲の皆さんの度量に敬意を表します。

福岡大名ライオンズクラブ●徳永修一郎

ライオン誌事務所来訪者芳名録

4・19　埼玉県大宮見沼　武藤　博昭
4・19　静岡県浜松リバティ　鈴木　英生

ライオン誌例会のススメ

ライオン誌日本語版委員会はクラブ例会でライオン誌を活用する「ライオン誌例会」を推奨しています。本誌記事をスピーチの話題にしたり、ディスカッションの題材にしてはいかがでしょう。

6月号THEME（6〜15ページ）は、「福岡フォーラム」。開催地福岡の魅力を紹介しています。7年ぶりに国内で開催されるフォーラムについて例会でPRし、会員の参加意欲を高めてください。

ライオン誌例会のノウハウを収めた**「ライオン誌例会 開催ガイド」**は、ライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）「各種書式／ロゴ ダウンロード」のページでPDFファイルをダウンロード出来ます。本誌バックナンバーはEブック形式で公開しておりますのでご活用ください。

ライオン誌投稿要領

■クラブ・リポート 今月号30〜40ページ：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。写真があれば添付。

■獅子吼 今月号43〜47ページ：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。

▼アクティビティ写真は動きのあるものを。記念撮影のような写真は掲載に適しません。

▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。

送付先：〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630
E-mail：edit@thelion.jp

『ライオン』誌バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

もう一度読みたい「あの記事」

●2001年11月号　新会員への手紙

「あなたの指導力を」

由井祐三（兵庫県・神戸イースト）

世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブは、国際会長を頂点として組織的に運営され、高い見識を持つ国際役員らと共に、豊かな人間性あふれる奉仕を行っています。すなわちライオンズクラブには、良心を十二分に社会生活で活用出来る、教養あふれる人材の育成も課せられているのです。

ライオンズクラブ創設の精神と目的は、創設者メルビン・ジョーンズが33歳で保険代理店を開業し、シカゴのビジネス・サークルに入会したことに始まります。週1回の昼食会を社会の向上に役立てられないかと考え、全国のサークルに呼び掛けてライオンズクラブの基礎が築かれました。ジョーンズは次のように言っています。

「ライオニズムの究極の目的は、人々に友愛の尊さを教えることである。どこの町でも国でも無私ということが、物事を解決する最大の力となる。真の友愛は人々がお互いに信頼と尊敬を持って生活し、働き、食を分かち合うところから生まれる」

ライオンズクラブが他の奉仕団体と比べて際立っているのは、こうした精神に立脚した人間教育に対する強い信念です。創設の精神を継承し、奉仕理念である自由主義、国際主義を高く掲げ団結して、ライオンズクラブの向上、発展に専念することをここに誓い合いたいと思います。

既に社会的・指導的地位を確立されている皆さんを指導し、育成する理由は、常に活性化し、前進を続けるべきライオンズクラブが、マンネリ化し、衰退し、ただの親睦会にならないためです。クラブは常に、指導力のある人材を求めているのです。

真にリーダーにふさわしい人物かどうかを判断するには、明確な基準を持ってきちんと評価する必要があります。

では、どのように評価すれば良いのでしょう。ある美術評論家は、アマチュアが絵画を評価する方法についてこう言っています。「じっと見ていて飽きのこないものが名画の条件ですよ」と。人を見るコツも似ているのではないでしょうか。先入観を捨て、時間を掛けて接すれば、その人の実相が見えてきます。その人が誠実であるかどうか、魅力ある人かどうか分かってくるものです。飽きのこない人は本物です。性格が面白く、奥行きがあり、会う度に新発見が出来るような人は退屈しません。

そして、①リーダーシップ、②情報感度、③人間的魅力が備わっていること。しかもそれぞれがかなり高いレベルにあり、見事に調和されていれば指導者として申し分ない人材でしょう。中でも最も重要な要素が「人間的魅力」です。

人間的魅力は個性や教養、包容力、あるいは人生経験などに裏打ちされたものです。地位や肩書きなど関係なく、ひたすら自分を磨くことが大切になってきます。常に生き生きとしながら、追い求める目標を見失わない。この姿勢が人間的魅力を一層光り輝かせるのです。

これから激動の21世紀を切り開いていく皆さんには、知識と勇気、そして指導力が必要です。長いライオンズ・ライフを、知識の修得のみに終始せず、高い指導力を生かす品性と精神を滋養する機会として頂きたいと思います。

読者プレゼント

■被災地を支援するがれきのキーホルダーを10人に

被災した古里に残った若者と、仮設住宅で生活する女性や高齢者の方々が手作りした【和】～Ring Project～のがれきのキーホルダーを10人にプレゼントします。津波で多くの家屋が流された岩手県釜石市、大槌町、陸前高田市のがれきで作ったキーホルダーは、材料となる木材の収集から販売まで被災した人々の手で行い、売り上げは作業に当たった方々に直接渡されます。烙印される「和」の文字は、大槌町出身の中学生書道家、高橋和也君が書いたもので、「禾」が実り、「口」は立ち上がるイメージで、人とのつながりと平和への思いが込められています（【和】～Ring Projectウェブサイトより）。

応募要領：ご希望の方は、はがきに「和」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。ライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op =0）からオンラインでの応募も出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は6月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

●5月号「クラブ・リポート」掲載記事について

「クラブ・リポート」（28ページ）で紹介した東京世田谷ライオンズクラブと宮城県・南三陸志津川ライオンズクラブによる被災した福祉作業所に対する支援事業は、3月19日に紙すき道具が寄贈された後、3月31日の第8回東日本大震災支援対策本部会議で南三陸志津川ライオンズクラブが提出していたLCIF指定交付金申請が認められ、事業費264万4320円が交付されました。

●訂正とお詫び

5月号「クラブ・リポート」（37ページ）で広島県・尾道ライオンズクラブの本年度会長は正しくはライオン池田曄良でした。お詫びして訂正します。

次号予告

THEME メンバーシップ

日本ライオンズの将来に大きな期待を寄せるウィンクン・タム国際会長の意向で開かれた日本ライオンズ・メンバーシップ・セミナーから、ケイ・フクシマ元国際会長の講演とパネル・ディスカッションの概要を伝えると共に、国際本部が実施したグローバル会員調査の分析データからメンバーシップの現状と課題を考える。

地区ガバナー紹介

7月から各地区の舵取りを担う2012-13年度地区ガバナー就任予定者35人の方針、抱負と略歴を紹介。

ふるさと探訪 青森県五所川原市

叩きつけるような独特の奏法で迫力ある音を奏でる津軽三味線は、五所川原市金木地区が発祥の地と言われる。ゴールデンウィークに開かれる全日本大会の熱戦を前にした津軽三味線のふるさとを訪ねた。

ライオン誌広告料金表

区分	種別／スペース	金額
表紙２	4色／1ページ	¥600,000
表紙３	4色／1ページ	¥500,000
表紙４	4色／1ページ	¥700,000
記事中	4色／1ページ	¥480,000
記事中	1色／1ページ	¥270,000
記事中	4色／3分の1ページ	¥160,000
記事中	1色／3分の1ページ	¥110,000
ハガキ	1色／1葉	¥700,000

※年間契約：年3回以上の出稿を条件に5～25%の割引制度があります
※会員割引：ライオンズクラブ会員は10%の特別割引があります（年間契約との併用可）

問い合わせ先：ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階
電話：03-3542-9571
ファクス：03-3546-2630
Eメール：office@thelion.jp

編集室

この1年を振り返って

ライオン誌
日本語版編集長
◉
後藤　忍
（北海道・函館グリーン）

今期編集方針の重点事項は、誌面を通じて国際会長テーマの浸透を図ること、特集記事として時代に合ったテーマの企画をすること、そして各クラブの活動を数多く紹介することでした。

もう一つ、特に力を入れて取り組んできたのは、大きな衝撃を与えた東日本大震災の被災地のメンバーの皆さんが奮闘されている姿を、全国に知ってもらうことでした。本誌は震災直後から被災地を取材してきましたが、復興へ向かうこの1年間の取材で強い印象を受けたのは、自宅や会社を津波で流され、身内や友人を失っても気丈に立ち向かい、献身的に地域のために尽くしているメンバーの姿です。そうした活動が地域の人々の共感を呼び、クラブに新たな仲間が加わり、東北地方のすべての地区で会員が増加していることは称賛に値します。

また日本中のメンバーが行動で示した気高い助け合いの精神は我々の誇りであり、大きな自信ともなりました。

4月号では「THEME：追跡・東日本大震災Ⅱ」で震災1年目を迎える被災地の取材を行い、クラブが力強く歩み始めたことが分かりました。しかし復興の道のりは遠く、今後は精神的な部分も含めて長期にわたる支援の必要性を強く感じております。

現在、ライオン誌日本語版の発行部数は10万部で、一般の方々の目に触れる機会もあり、編集に当たっては客観的な姿勢が大事です。本誌の使命は情報を一方的に提供することではなく、将来の発展に寄与する幅広い題材を取り上げ、日本のライオンズクラブの指針を提案することだと思います。

私たち今年度委員会の任期は7月末までで、編集に携わるのは8月号までとなりますが、ここまでのところ編集方針から外れることなく発行を重ねてこられたと満足しております。震災直後にカメラを抱え、がれきと寒さを乗り越えて取材に取り組んでくれたスタッフと、編集に協力してくださった皆様に感謝申し上げます。

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

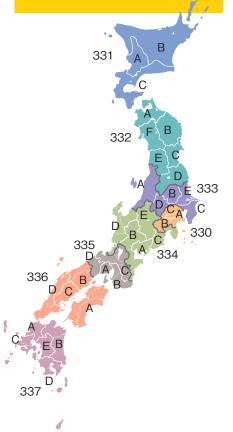
Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

日本のライオンズ

2012.4.30　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	期首からの増減
330-A	東京	203	5,089	4,342	718	162
330-B	神奈川·山梨·東京	180	5,026	4,414	612	116
330-C	埼玉	97	2,425	2,165	260	25
330	計	480	12,540	10,921	1,590	303
331-A	北海道（道央）	71	2,467	2,285	182	16
331-B	北海道（道北·道東）	90	2,523	2,398	125	41
331-C	北海道（道南）	56	1,883	1,685	198	-2
331	計	217	6,873	6,368	505	55
332-A	青森	66	1,783	1,598	185	65
332-B	岩手	55	2,327	1,625	702	109
332-C	宮城	76	1,557	1,272	285	24
332-D	福島	76	1,986	1,787	199	30
332-E	山形	58	1,844	1,636	208	28
332-F	秋田	51	1,316	1,078	238	30
332	計	382	10,813	8,996	1,817	286
333-A	新潟	77	2,869	2,545	324	21
333-B	栃木	56	1,583	1,139	444	0
333-C	千葉	139	3,569	2,987	582	33
333-D	群馬	54	2,147	1,719	408	71
333-E	茨城	78	2,888	2,576	312	79
333	計	404	13,056	10,966	2,070	204
334-A	愛知	122	5,385	4,807	572	117
334-B	岐阜·三重	83	3,592	3,303	289	88
334-C	静岡	83	3,219	3,092	127	63
334-D	富山·石川·福井	97	3,922	3,671	251	32
334-E	長野	53	2,092	1,859	233	54
334	計	438	18,210	16,732	1,472	354
335-A	兵庫（東）	98	2,447	2,100	347	-3
335-B	大阪·和歌山	188	5,737	5,079	658	43
335-C	滋賀·京都·奈良	121	4,002	3,687	315	70
335-D	兵庫（西）	68	2,002	1,790	212	4
335	計	475	14,188	12,656	1,532	114
336-A	徳島·高知·香川·愛媛	151	5,611	4,941	670	-6
336-B	鳥取·岡山	96	3,113	2,806	307	-31
336-C	広島	101	3,486	3,282	204	34
336-D	島根·山口	101	3,257	3,031	226	3
336	計	449	15,467	14,060	1,407	0
337-A	福岡·長崎	117	4,528	3,989	539	104
337-B	大分·宮崎	73	2,378	2,210	168	104
337-C	佐賀·長崎	84	3,140	2,628	512	63
337-D	鹿児島·沖縄	80	2,418	2,199	219	31
337-E	熊本	60	1,644	1,475	149	75
337	計	414	14,108	12,501	1,587	377
総計		3,259	105,255	93,275	11,980	1,693
世界のライオンズの		7.0%	7.7%	8.9%	3.6%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2012.4.30　国際協会集計

ライオンズ国または領域	208
世界のクラブ数	46,515
世界の会員数	1,373,379
※男性会員数	1,042,608
※女性会員数	330,771
期首からの増減	31,872

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	12,314	351,399	-6,174
インド	6,167	224,466	19,776
韓国	2,135	85,658	2,321

ライオン誌7月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2012年（平成24年）6月20日発行　毎月1回20日発行　第55巻第1号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　Tel 03-3542-9571
印刷所　共同印刷株式会社